

1/100 scale MASTER GRADE MSN-001A1 DELTA PLUS



# MSN-001A1 DELTA PLUS

E.F.S.F. TRANSFORMABLE MOBILE SUIT PROTOTYPE



1/100 scale MASTER GRADE MSN-001A1 DELTA PLUS



地球連邦軍量産試作型可変モビルスーツ  
MSN-001A1「デルタプラス」  
1/100スケール  
マスターグレードモデル

## MSN-001A1 DELTA PLUS



地球連邦軍量産試作型可変モビルスーツ  
MSN-001A1「デルタプラス」  
1/100スケール  
マスターグレードモデル

GUNDAM.INFO  Search  
[www.gundam.info](http://www.gundam.info)  
バンダイホビーサイト [www.bandai-hobby.net/](http://www.bandai-hobby.net/)



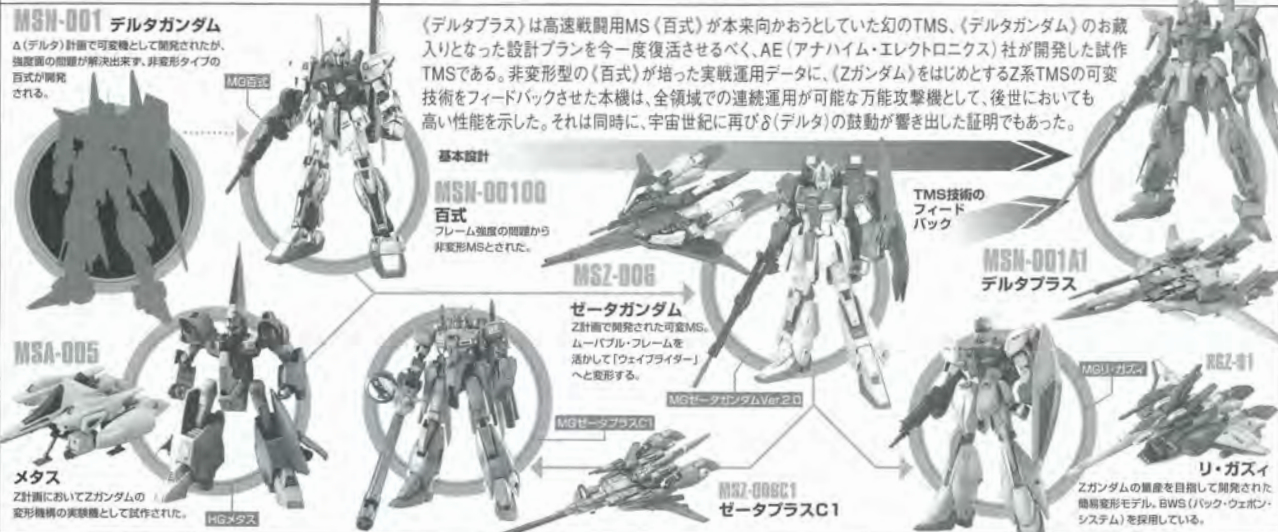


# STORY

宇宙世紀0096年、開放されれば連邦政府を転覆しかねないと言われる「ラプラスの箱」を巡って、地球連邦軍のロンド・ベルとネオ・ジオン残党軍「袖付き」による戦いが勃発する。運命の少女ミネルバ・ザビを守るため、《ユニコーンガンダム》で出撃したバナージ・リンクスは、フル・フロンタルの《シナンジュ》との交戦で捕縛され、身柄をネオ・ジオン残党軍「袖付き」の拠点、資源衛星〈パラオ〉に留め置かれてしまう。バナージとガンダムを奪還すべく、特殊部隊エコーズを率いる連邦軍のダグザ・マククル中佐は、ネル・アーガマとの連携による〈パラオ〉攻略戦を敢行する。その混乱に乗じてガンダムと共に〈パラオ〉を脱出したバナージだったが……。



## MOBILE SUIT HISTORY 〈可変MS デルタプラス への進化プロセスを検証〉



# MSN-001A1 DELTA PLUS

かつて、「δ(デルタ)」のギリシャ文字が冠されたガンダムが生まれようとしていた。その機体は自らの翼を広げ、大空を自由に飛ぶ力が与えられるはずだった。だが、その時代では実現不可能な技術を求められた機体は違う姿と名前を与えられ、ある意味不完全な形で世に出ることとなった。技術者から「百年保つモビルスーツ」との願いを込めて命名された機体、MSN-00100《百式》。TMS(Transformable Mobile Suit=可変モビルスーツ)の礎となった「Z計画」の過程において、非変形型の機体として仕様変更された異端の高性能機である。《百式》はその後同計画の徒花とはならず、基本設計を踏襲したバリエーション機が複数種開発され、モビルスーツ史に深く刻まれる名機となった。Z計画はMSZ-006《Zガンダム》を一つの到達点としてもなお、量産型TMSをはじめとする数種のアプローチをもって、同系統の生産モデルの開発は継続されることとなる。その一方で、本来《百式》が目指していたTMS、MSN-001《デルタガンダム》の開発プランを基に、既存Z系モビルスーツの技術を再投入したことによって、改めて完成を見た機体があった。U.C.0090年、地球連邦軍からの委託を受け、AE(アナハイム・エレクトロニクス)社が開発した試作TMS、それがMSN-001A1《デルタプラス》

なのである。単機で大気圏内外の運用可能な万能攻撃機として開発が進められた本機は、多大なる戦績を残した高速戦闘用モビルスーツである《百式》の運用データを活用し、問題点などを洗い直した上でフィードバックされている。さらには各部門において独自規格による挑戦的な設計が行われており、単純に変形機構が備えられたアップデート版《百式》という表現だけでは留まらない、もはや技術試験機の様相を呈していたという。これはパイロセンサと呼ばれる簡易サイコミュ装置が本機に採用されていた点からも伺える。一般的にはパイロットの脳波制御によって操縦系のサポートを行い、機体の追従性を高める効果を与えるとはされていたが、ネオ・ジオンと比較してサイコミュ技術に後れを取っていた連邦軍が、通常のパイロットでは実効性が低いとされていた本装置の採用指示をどのような意図を持ってAE社に発注していたのか現時点においては定かでない。本機は少数を生産し、その内の一機はU.C.0096年、地球連邦宇宙軍の独立機動艦隊ロンド・ベルに補充機体として配備された記録が残っている。配備当時の主力量産機とは一切の互換性を持たない規格外の試作機ではあったが、その性能もまた規格外の高さを示したという。



## MECHANISM



**HEAD UNIT** 《デルタプラス》のヘッドユニットは《百式》が採用していたイデシステム(Image Directive Encode System=画像管理型符号化装置)のアップデートバージョンをセンサー部に搭載しており、起動、索敵等のモード切替時において、パイザー表面に複数の走査パターンが表示される。その奥に配置されたデュアルアイセンサーも含め、その独特な意匠は本機が《百式》の系譜に属する機体であることを強く主張している。

## WAVE RIDER

U.C.0087年、モビルスーツ史において戦略、戦術上大きな意味を持つ「宇宙空間から重力下までの連続運用」という究極の汎用性を叶える革新的技術が誕生した。大気圏再突入という文字通り巨大な壁を越えるため、人型からそれに即した形態に変形することによって、専用装備を必要としない標準兵装での再突入を可能とした形態、それがウェイライダーである。《Zガンダム》で初めて備わったこの機能は、同様の道筋を目指していた《デルタプラス》の可変形態としても無論実装されており、技術の進歩によってその運用性能は更なる進化を遂げている。本機のウェイライダー形態時には、携行火器のビーム・ライフルは機体下部にマウントされ、(大気圏突入時には、機体上面への装着も可能。)機首ユニットに内装されたビーム・キャノンを中心とする各種兵装と共に、モビルスーツ形態時とならぬ火力を維持している。さらに背面のフレキシブルバインダーが可変翼として機能することにより、航宙、航空を問わず圧倒的な空戦能力が付加されているのである。なお、本機には僚機を運搬するSFS(サブ・フライト・システム)としての運用は想定されていないが、本機に与えられた潤沢な推力をもってすれば、1G重力下においても容易に可能であろうと推測できる。総体的にマルチロールファイター(多用途戦闘機)へと変貌した《デルタプラス》は、航空兵器全盛の時代に培われてきた数々の戦闘技術を、宇宙世紀においてもよどみなく再現し、そしてより昇華させるのだ。



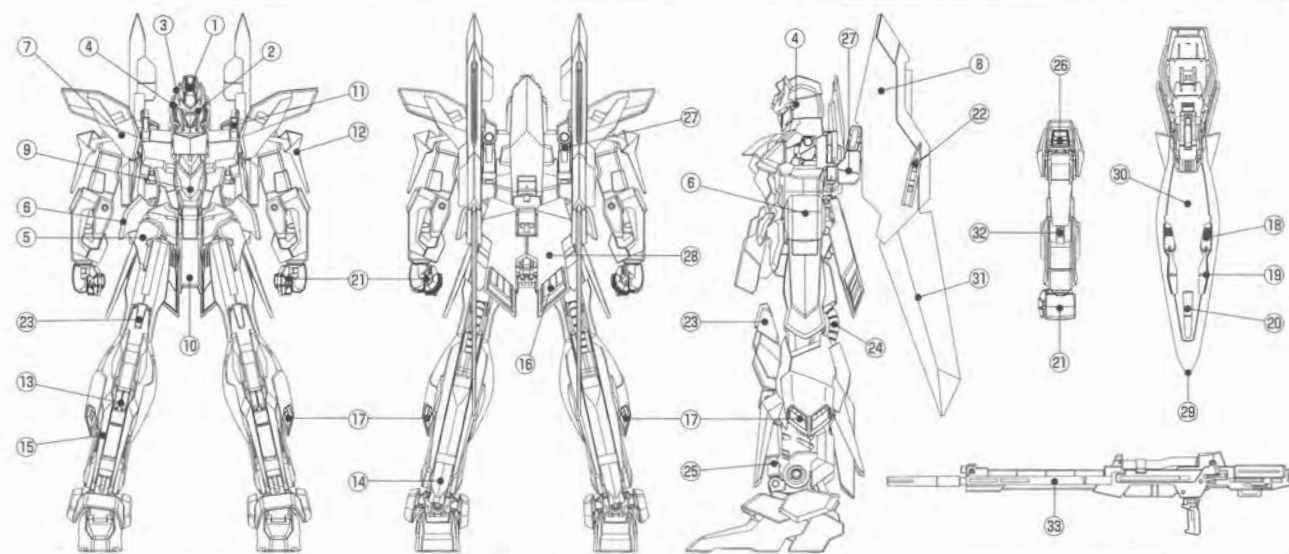
**SHIELD UNIT** 先端部分には固定式のビーム・キャノンが一門、複数種の弾頭に対応した2連装グレネード・ランチャーとビーム・サーベルが収納されている。サーベルに内蔵されている発信器は照射角可変機構を採用しており、シールド収納状態時はビーム・ガンとして、又は直接二本のビーム刃を発振させることも可能。ウェイライダー形態時にはセンサーやメインウェポンとして機能するなど、防御装備と言うよりは複合型変形用サブユニットの意味合いが強い。



**LEG UNIT** 《デルタプラス》は背面部に推進機関が存在せず、その下半身に集中してスラスターを配する独特なレイアウトのTMSである。特に脚部はウェイライダー形態時にメインスラスターとして機能する重要なユニットでありながら、剥き出しの内部フレームを最低限の装甲で包んだ一見不可解な構造を採用している。これは高速戦闘用モビルスーツとしての方向性に則って、耐弾性よりも運動性の向上を追求した本機の回答であり、《百式》の時点で実証された紛れもない正答と言える。



## Parts and spec MSN-001A1 DELTA PLUS



- |                |                 |                   |                 |             |
|----------------|-----------------|-------------------|-----------------|-------------|
| ① メインカメラ       | ⑧ フレキシブルバインダー   | ⑮ プロテクションフロートフレーム | ⑳ マルチプルマウント     | ㉓ ノーズセンサー   |
| ② デュアルアイセンサー   | ⑨ コックピットハッチ     | ⑯ メインスラスター        | ㉑ ニーアーマー        | ㉔ シールドユニット  |
| ③ マルチアンテナ      | ⑩ ラジエーションユニット   | ⑰ パーニアスラスター       | ㉒ フレックスチューブ     | ㉕ パリアブルウイング |
| ④ 60mmバルカン     | ⑪ パワーサプライアーマー   | ⑱ ビーム・サーベル        | ㉓ アクチュエーターシリンダー | ㉖ マルチプル     |
| ⑤ フロントフロートアーマー | ⑫ ショルダーフロートアーマー | ⑲ グレネード・ランチャー     | ㉔ 姿勢制御パーニア      | ㉗ ハードポイント   |
| ⑥ サイドアーマー      | ⑬ シリンダーユニット     | ㉑ ビーム・キャノン        | ㉕ バインダーフレーム     | ㉘ ビーム・ライフル  |
| ⑦ ショルダーアーマー    | ⑭ フロートアーマー      | ㉒ マニピュレーター        | ㉖ リアアーマー        |             |



**△ 注意**

**必ずお読みください**

- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

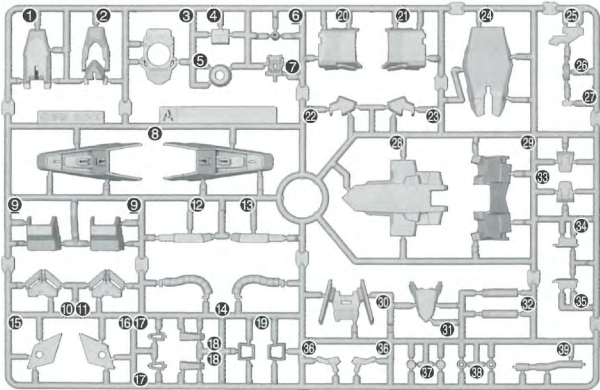
**〈組み立てる時の注意〉**

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
  - 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
  - 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
  - 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
  - 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

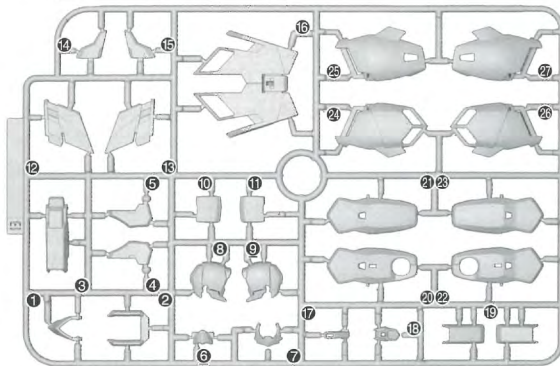
**パーツリスト**

(×印は使用しないパーツです。)

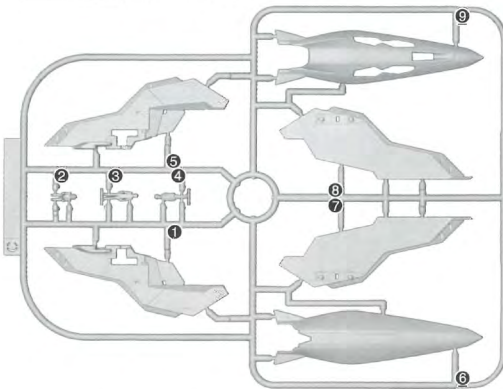
**Aパーツ** (スチロール樹脂 : PS)



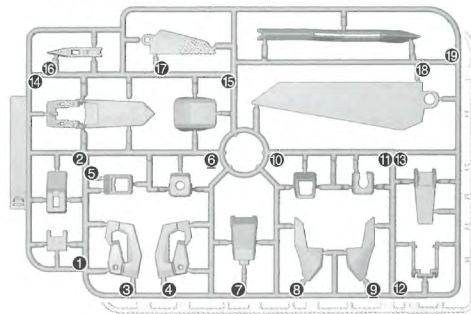
**Bパーツ** (スチロール樹脂 : PS)



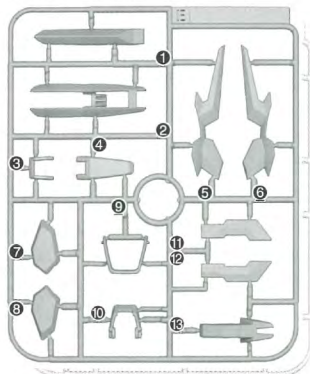
**Cパーツ** (スチロール樹脂 : PS)



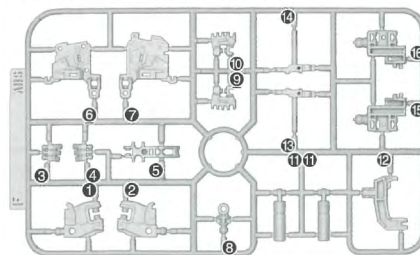
**Dパーツ** (×2)  
(スチロール樹脂 : PS)



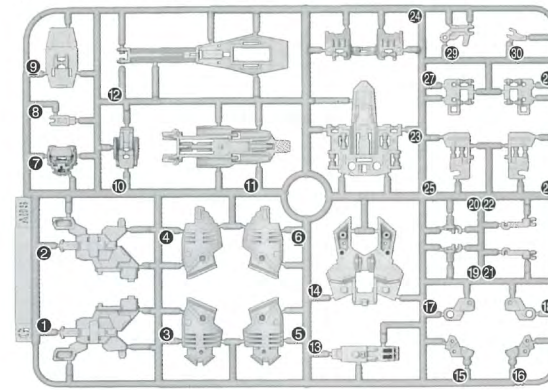
**Eパーツ** (×2)  
(スチロール樹脂 : PS)



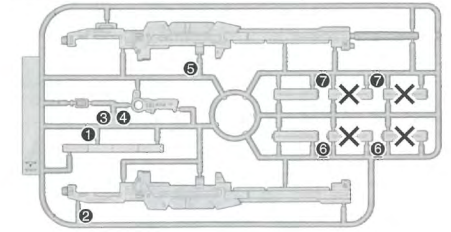
**Fパーツ** (ABS樹脂 : ABS)



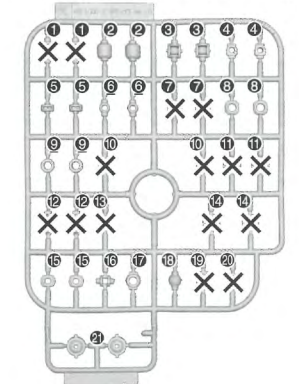
**Gパーツ** (ABS樹脂 : ABS)



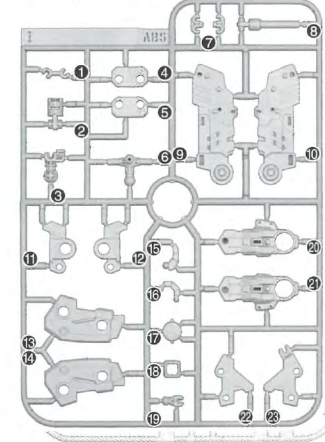
**Hパーツ** (スチロール樹脂 : PS)



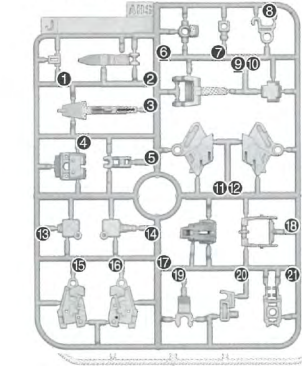
**Kパーツ** (ポリエチレン : PE)



**Iパーツ** (×2)  
(ABS樹脂 : ABS)



**Jパーツ** (×2)  
(ABS樹脂 : ABS)



**SB1パーツ** (スチロール樹脂 : PS)



カラーシール.....1枚  
マーキングシール.....1枚  
ガンダムデカール.....1枚

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

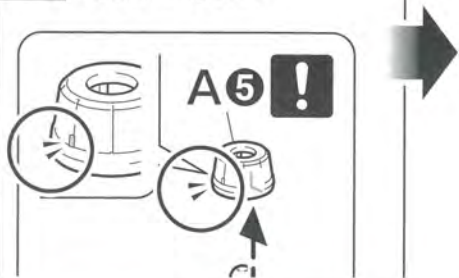


# 組み立て前の基本説明

部品の向きに注意してください

※組み立て図中にVのついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。

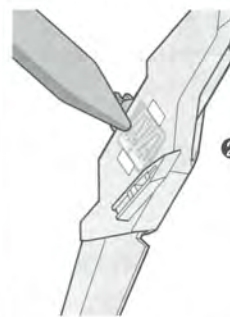
## BODY UNIT



## ガンダムデカールの貼りかた

①ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。

保護シート

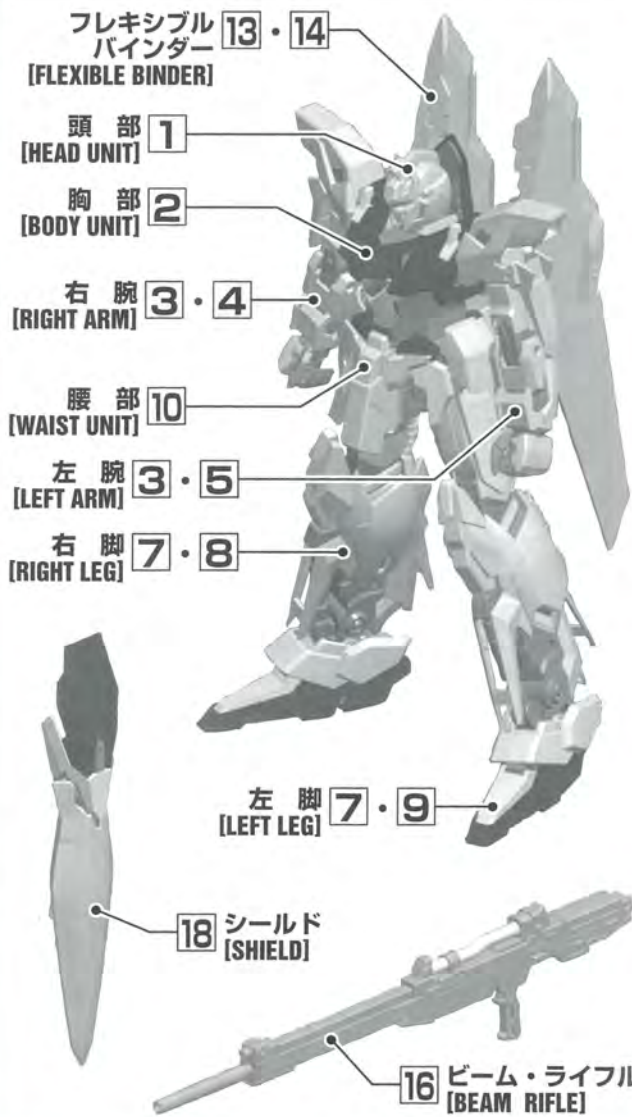


②保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、ずれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。

③シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。

※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

説明書をよく読んで完成させましょう

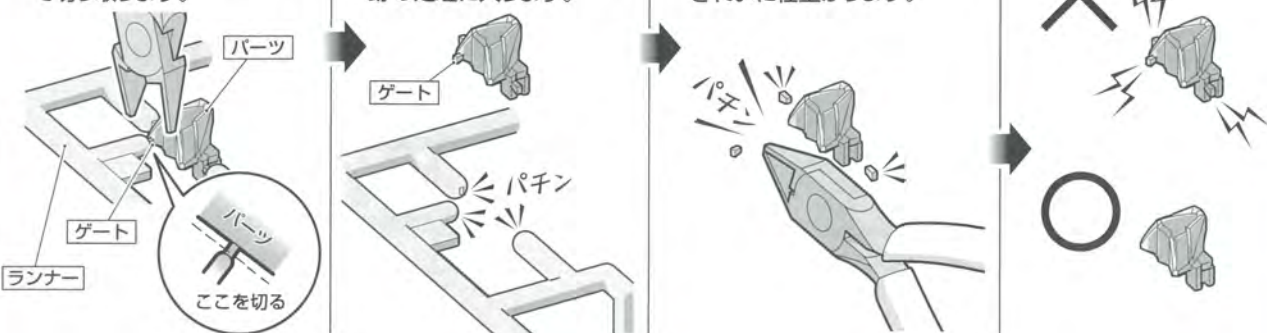


## パーツの切り取りかた

①まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。

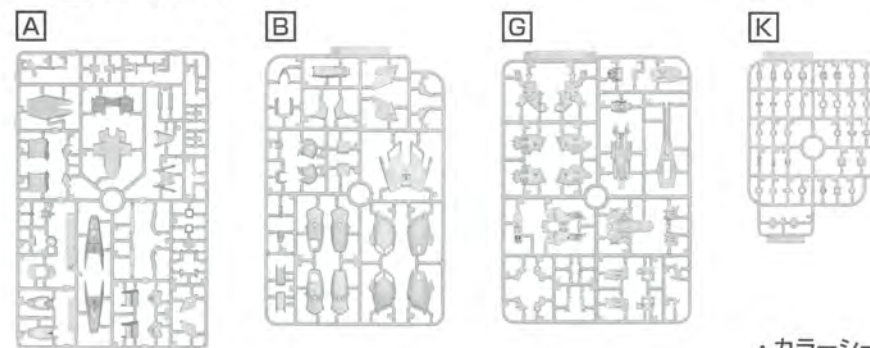
②パーツを切り離して持ちやすくしたところでゲートの処理に入ります。

③ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



## 1 HEAD UNIT

・組立1で使用するパーツ

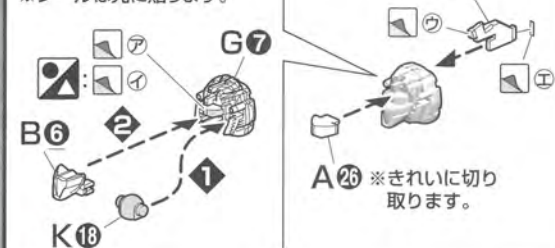


・カラーシール

### 1 (頭部の組立)

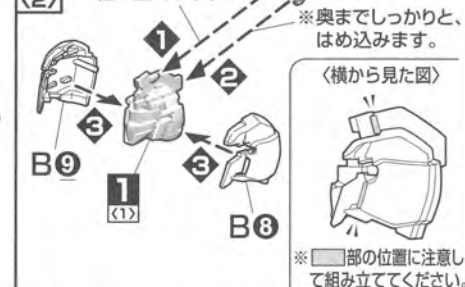
#### 1 (1) HEAD UNIT

※シールは先に貼ります。



### 1 (2)

※ミゾに合わせて組み立てます。



※奥までしっかりと、はめ込みます。

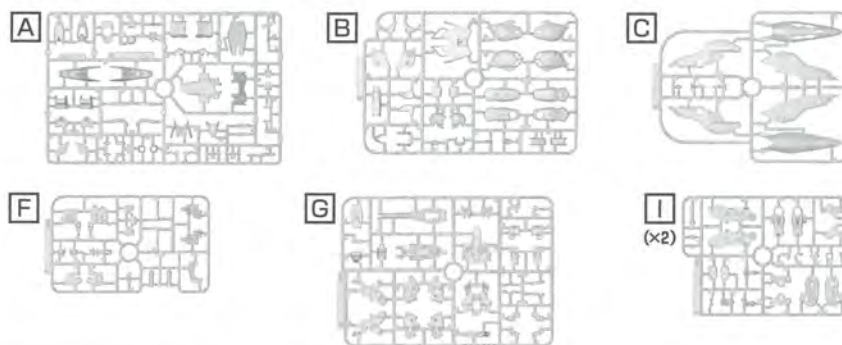
〈横から見た図〉



※部品の位置に注意して組み立ててください。

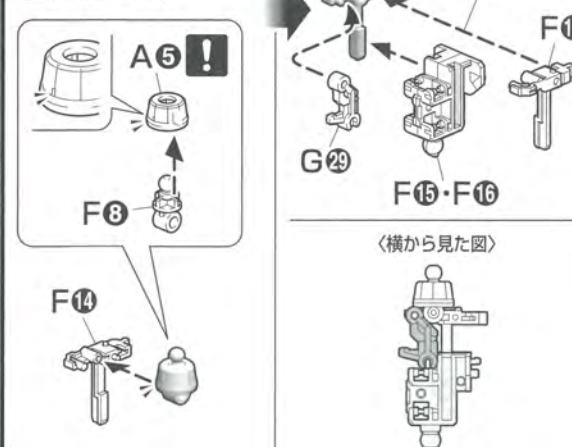
## 2 BODY UNIT

・組立2で使用するパーツ

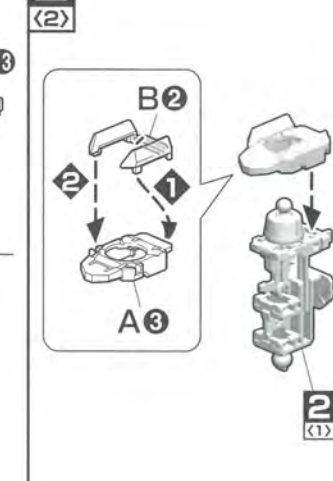


### 2 (胸部の組立)

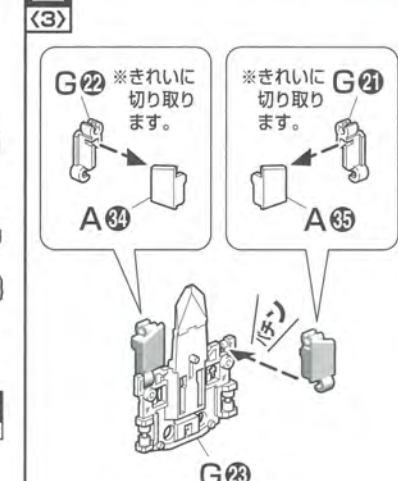
#### 2 (1) BODY UNIT



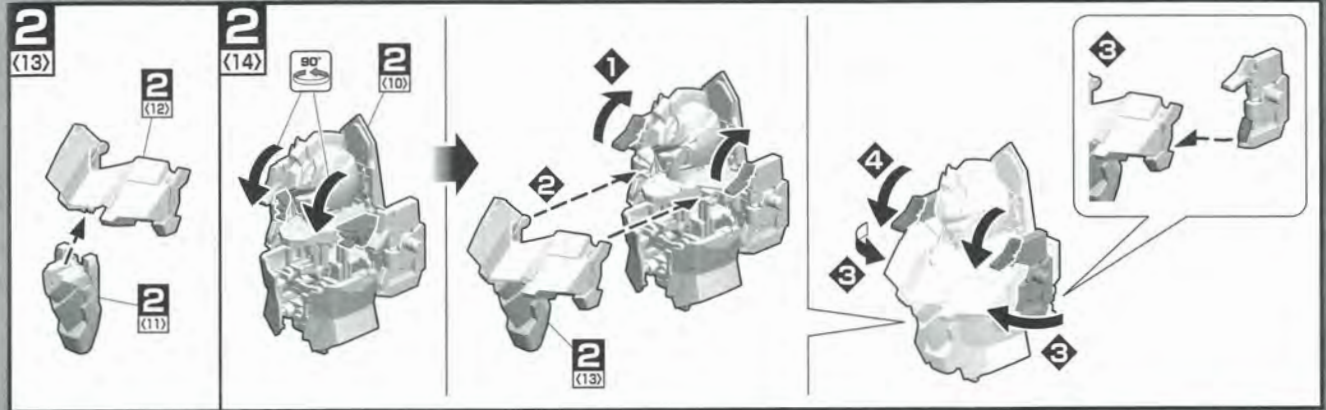
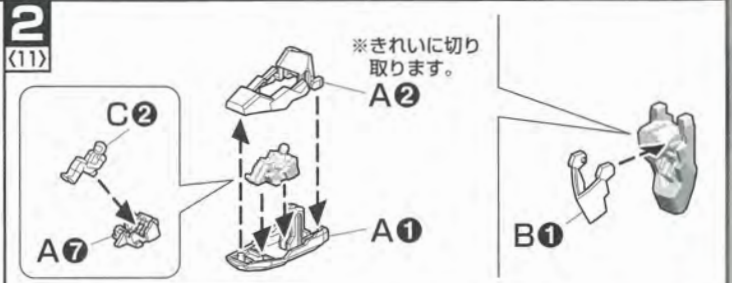
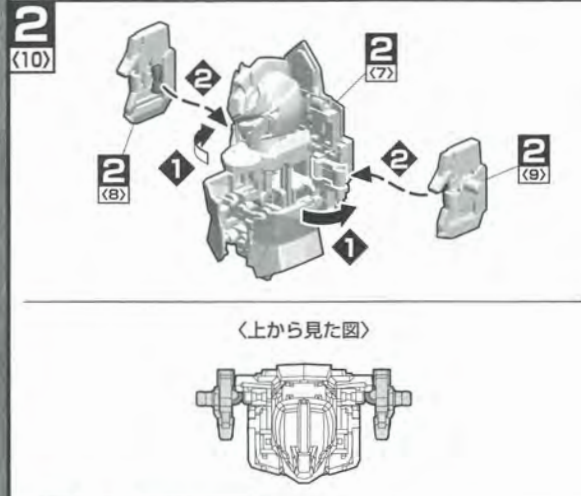
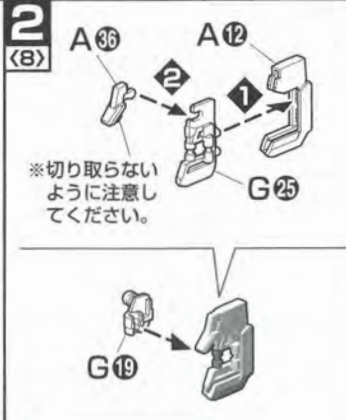
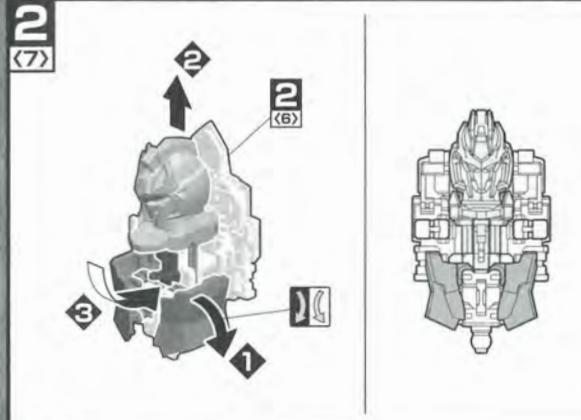
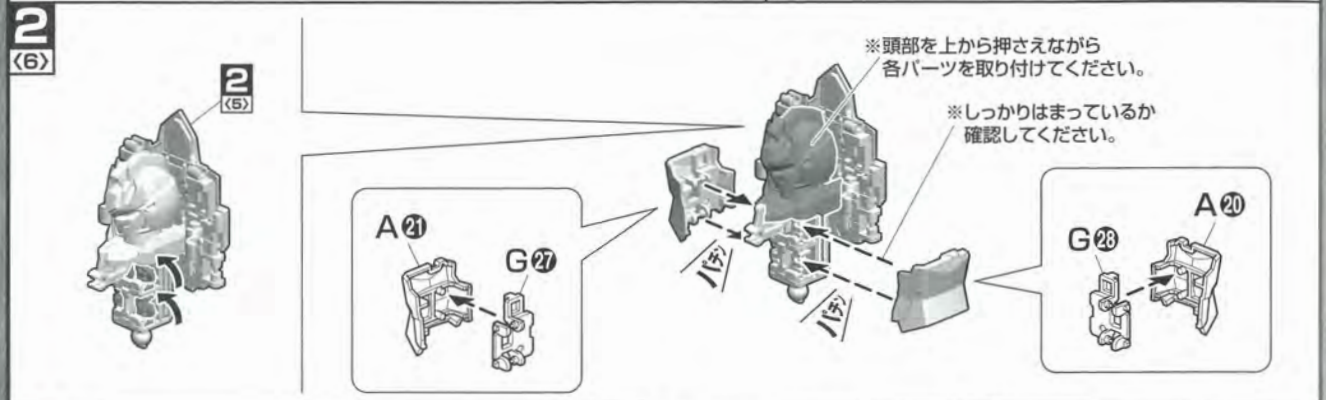
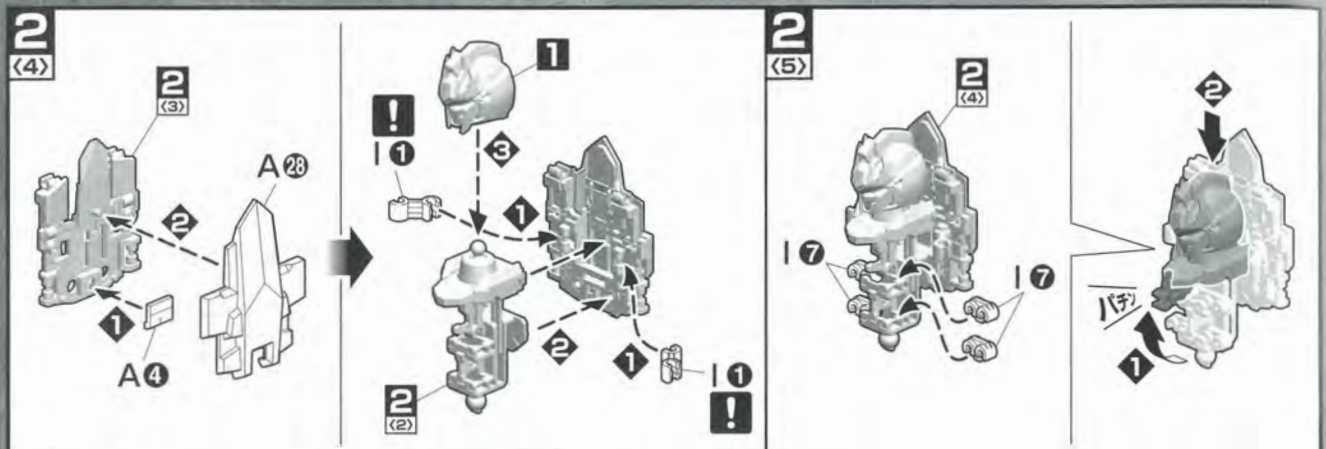
### 2 (2)



### 2 (3)

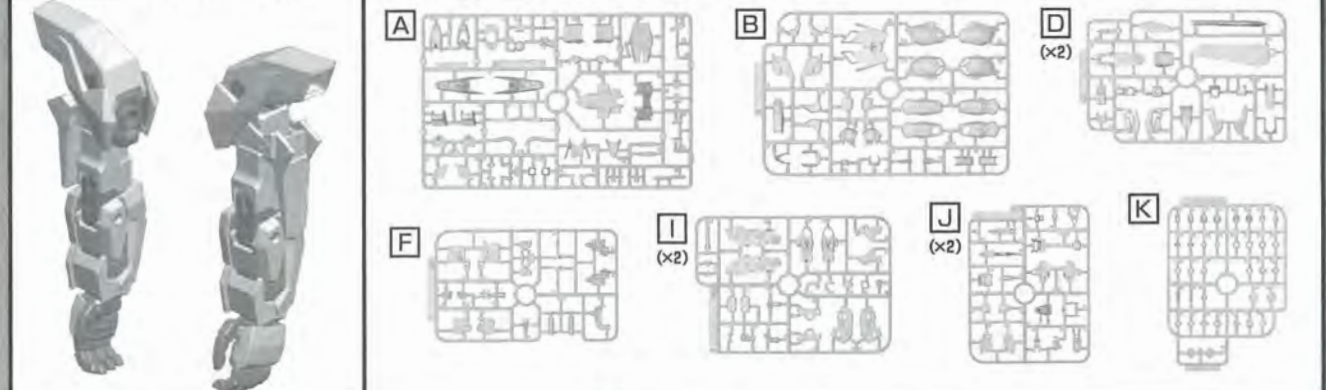




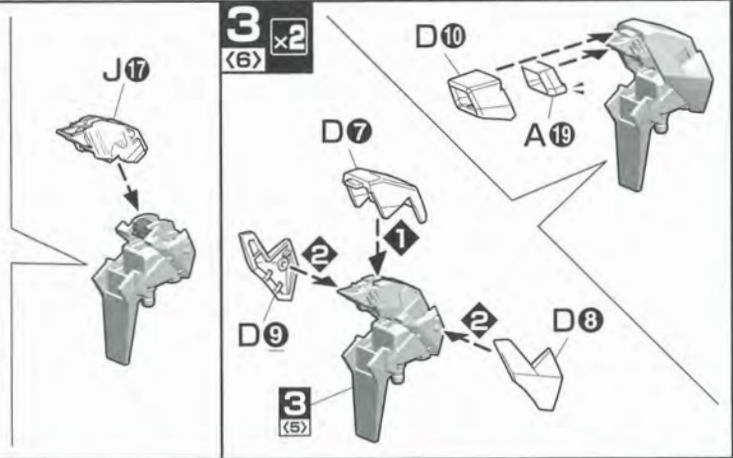
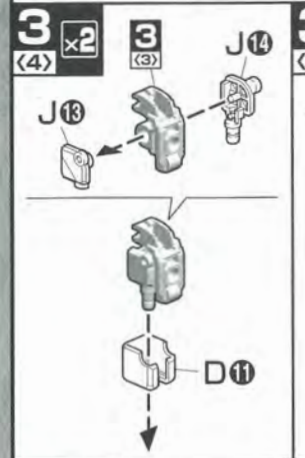
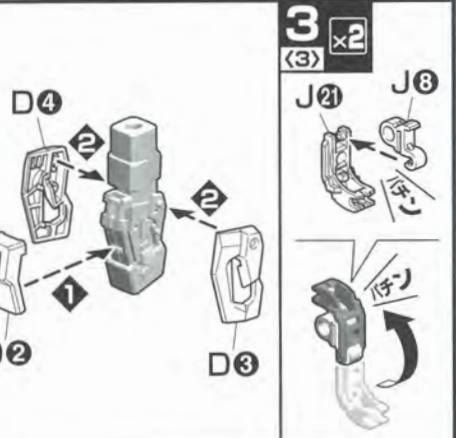
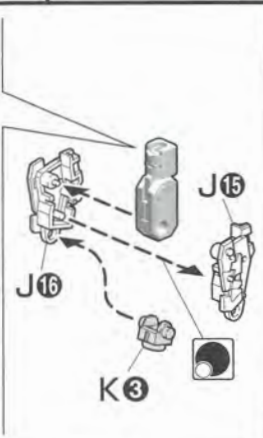
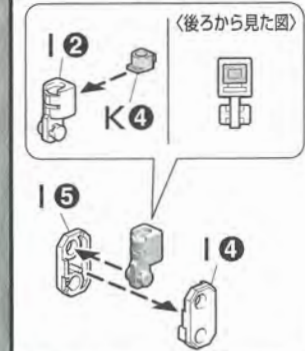


**345 ARM UNIT**

・組立3・4・5で使用するパーツ

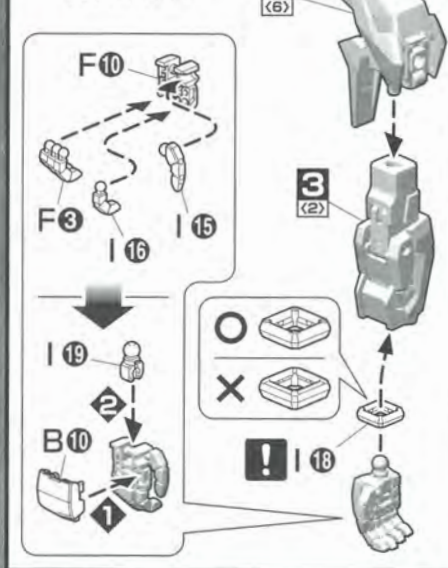


**3 (腕部の組立) ARM UNIT**

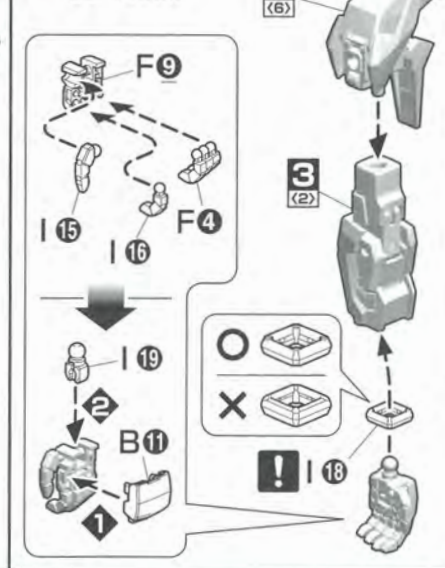




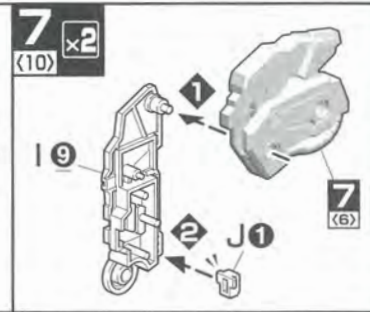
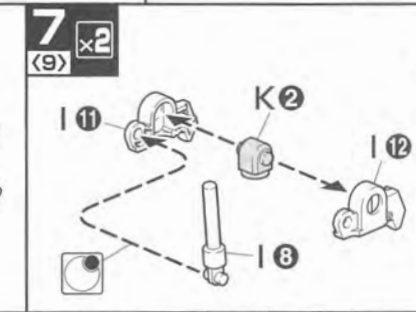
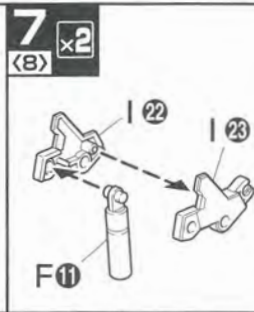
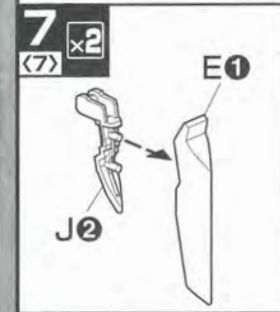
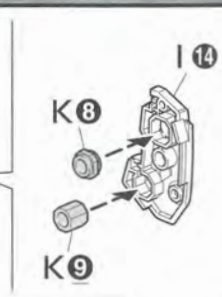
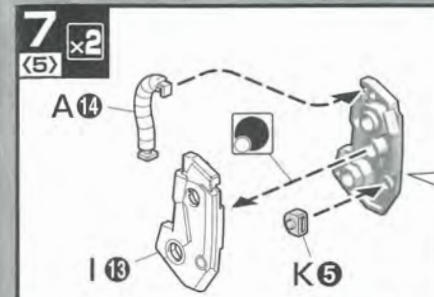
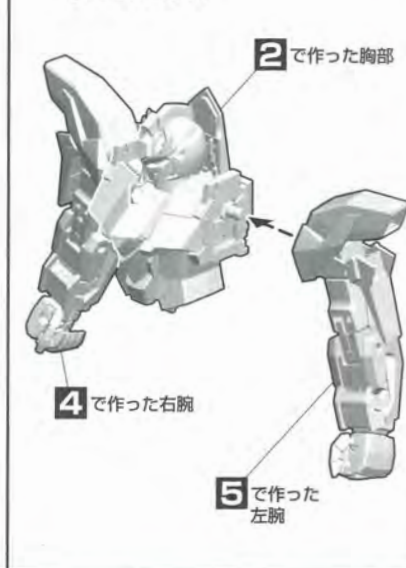
**4** (右腕の組立)  
RIGHT ARM



**5** (左腕の組立)  
LEFT ARM



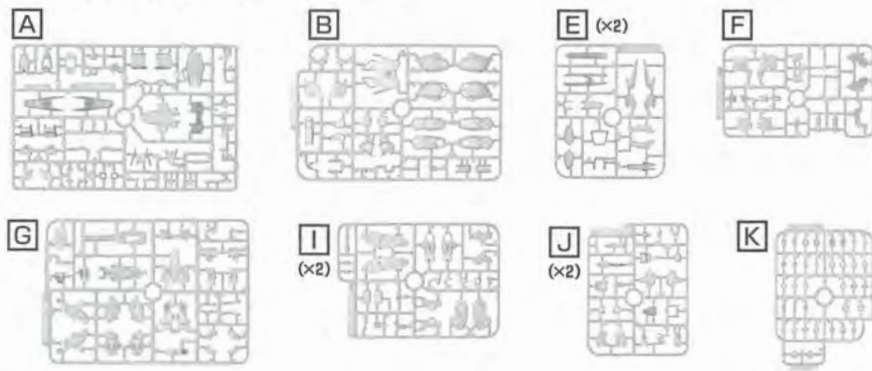
**6** (上半身の組立)  
UPPER BODY



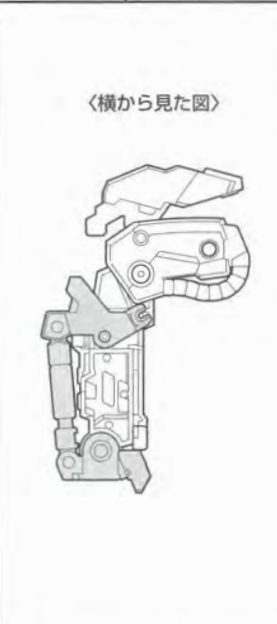
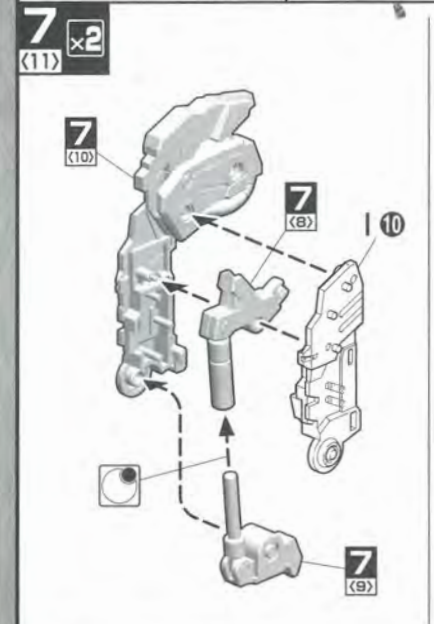
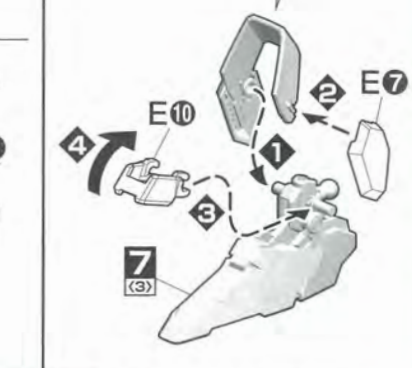
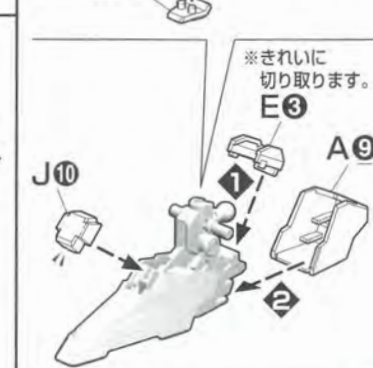
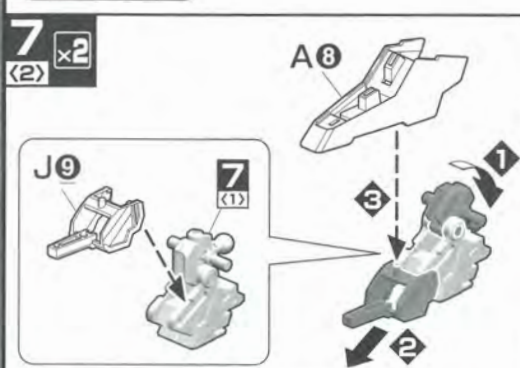
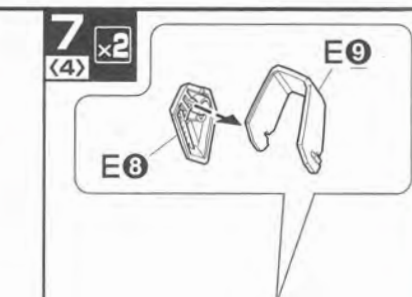
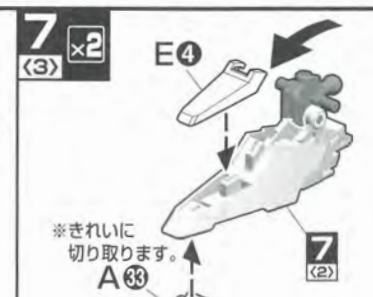
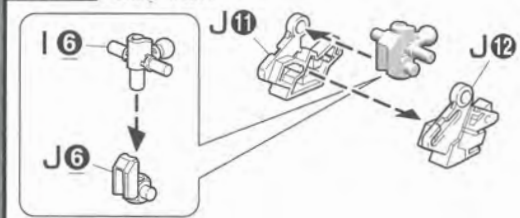
**789** LEG UNIT



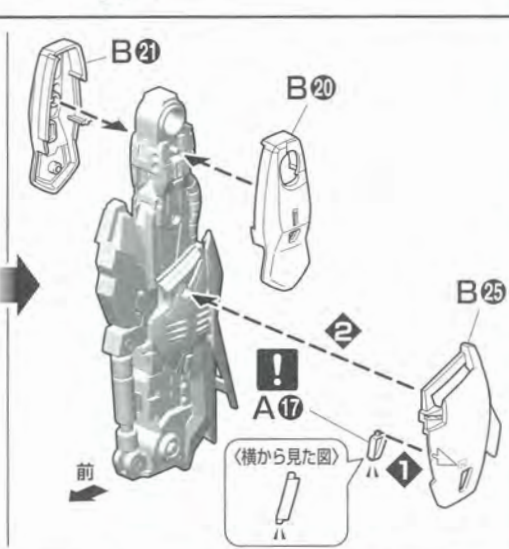
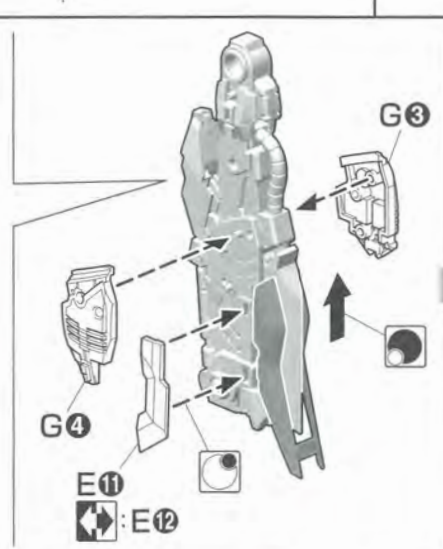
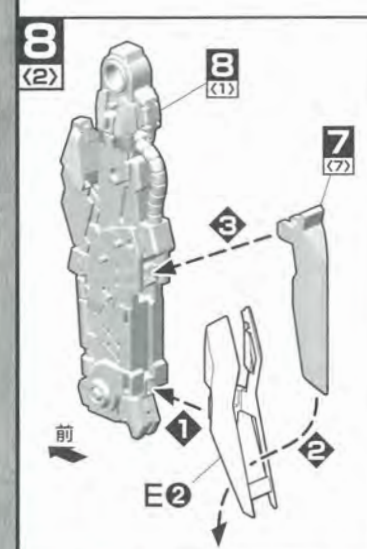
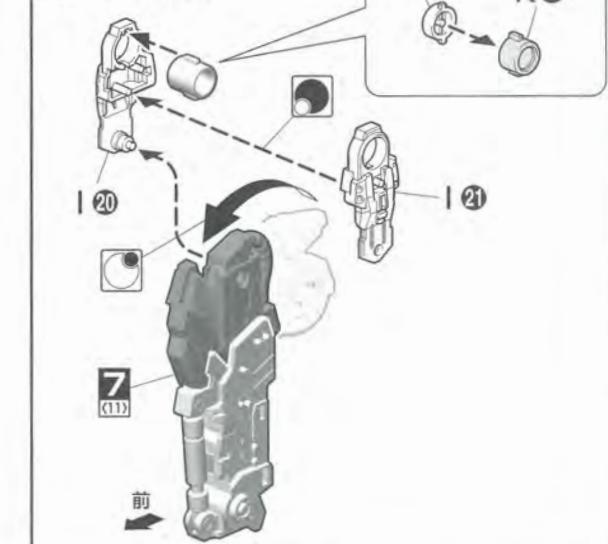
・組立**7**・**8**・**9**で使用するパーツ



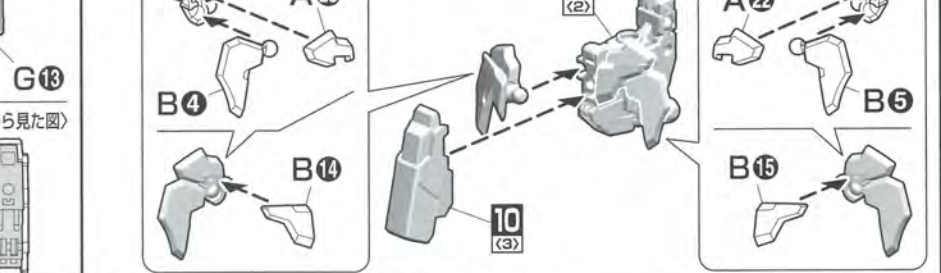
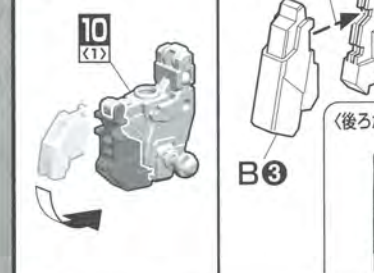
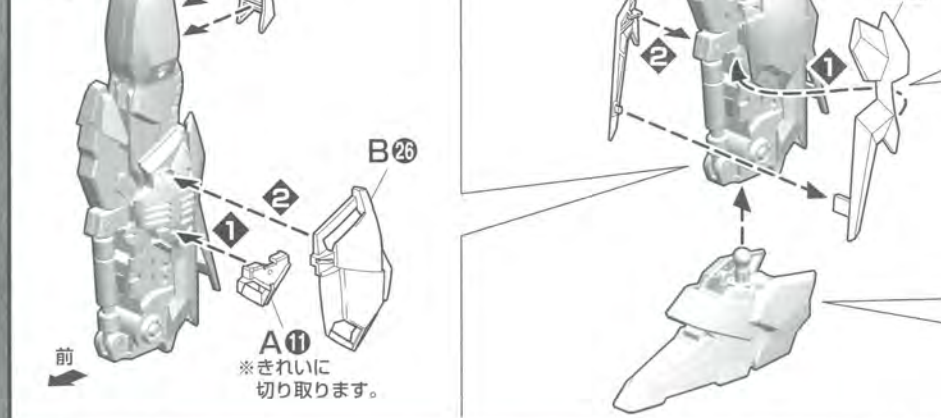
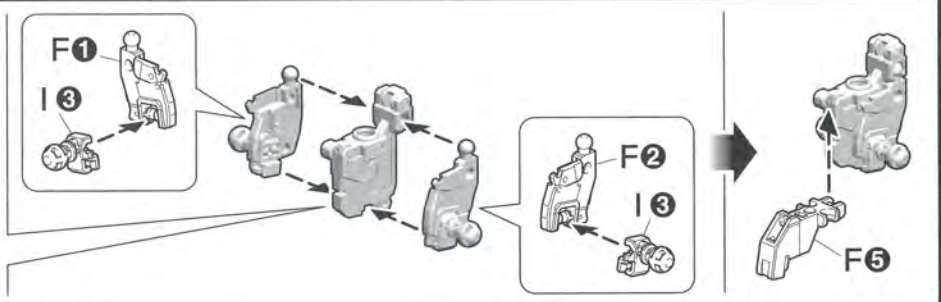
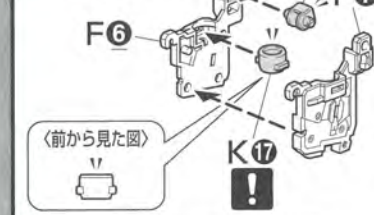
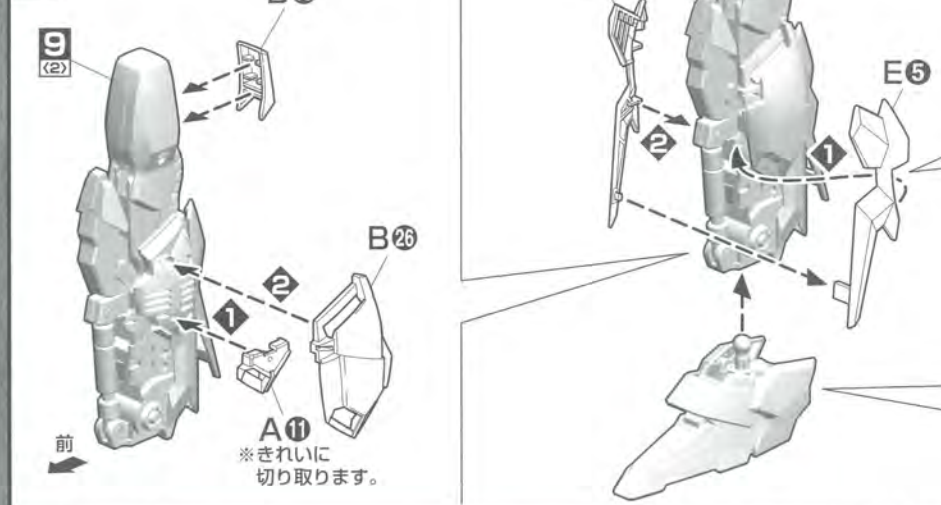
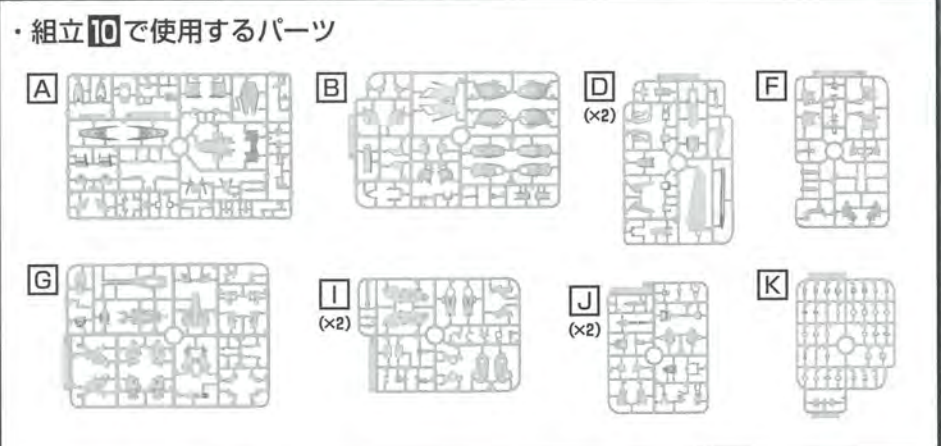
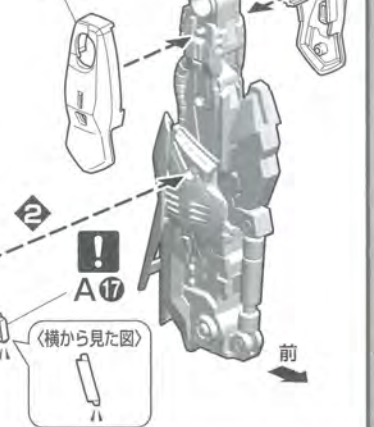
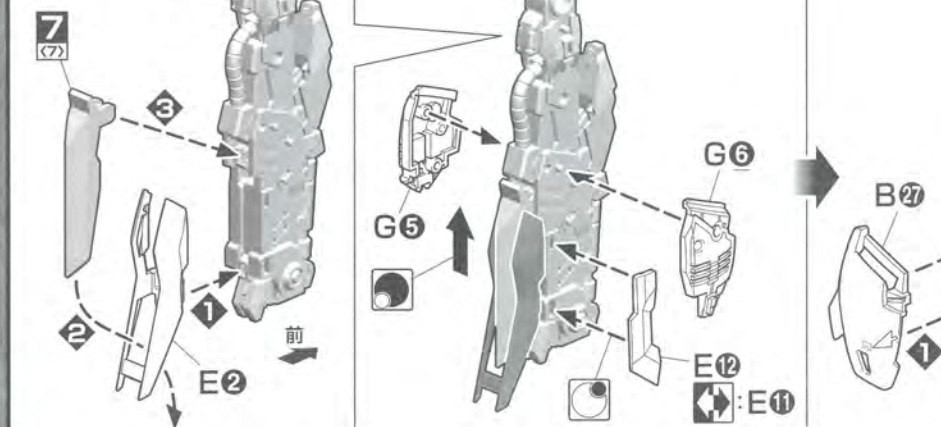
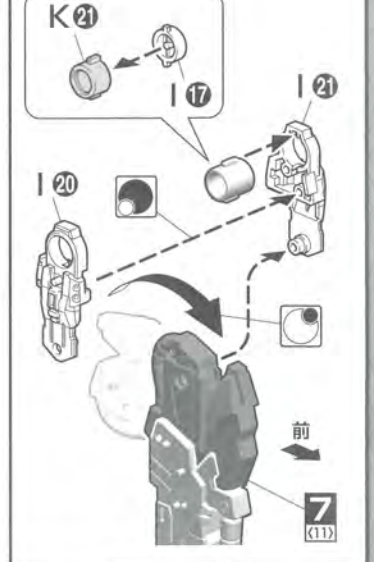
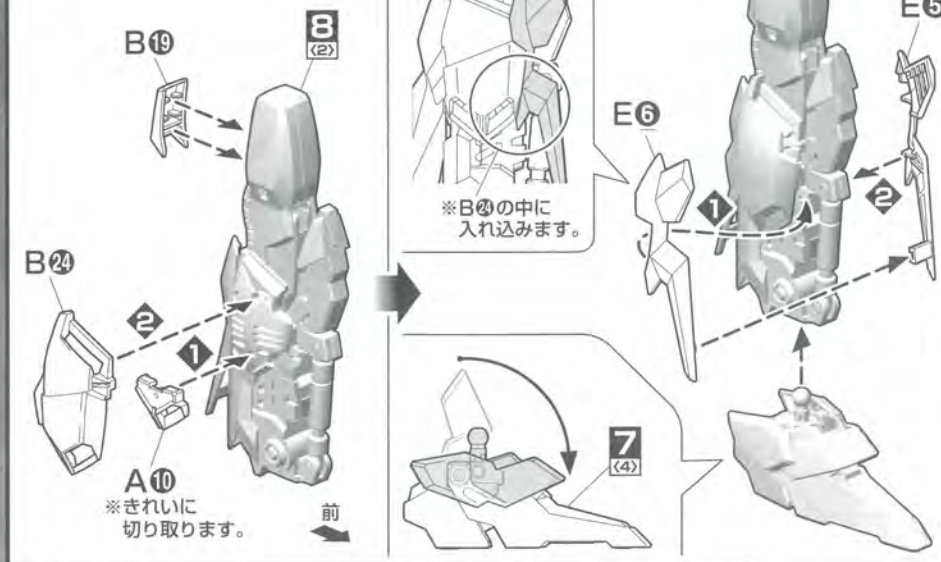
**7** (1) x2 (脚部の組立)  
LEG UNIT



**8** (右足の組立)  
(1) RIGHT LEG









# U.C.0096 THE La+ MEMORY



## 「約束」という名の呪縛

資源衛星であったはずの(パラオ)の周辺は、地球連邦とネオ・ジオン両軍による戦闘の光に包まれ続けた。宙空に漂う(キラドーガ)の残骸の傍らに、背中合わせで接触している二体のモビルスーツ。「ミネバ……いや、オードリーは責任を持って送り届ける。この(デルタプラス)なら、オプション無しでの大気圏突入が可能だ」蒼灰の機体を駆るパイロット、リディ・マーセナス少尉は背中越しの機体へ語りかける。その純白に包まれた(ユニコーンガンダム)のパイロット、バナージ・リンクスは静かに頷き、接触回線で(デルタプラス)のコックピット内にいるもう一人の少女へ真意を問う。「オードリー、一つだけ教えてくれ。それは君がやりたいことなのか?」「……ええ。そうだと思う」一瞬の沈黙の後、オードリーと呼ばれた少女の答えにバナージの決意は固まる。「リディ少尉……男と見込んだ。オードリーを頼みます」それは陳腐な、しかし無条件にリディの心を締め付ける言葉だった。聞き返す暇もなく、(ユニコーンガンダム)は(デルタプラス)との接触回線を解き、戦域に復帰していく。「……殺し文句だな」ふっふっふとたぎり始めた胸が、感じたことのない熱を体中に漲らせていく。もはや自分の思いでは進むも退くもままならない、バナージ・リンクスという名の宿命を背負った我が身を実感しつつ、リディは粉塵を滞留させる(パラオ)の先端に目を向けた。

## 運命を変えるための「帰還」

ごとんと揺れた機体に眠りを破られ、少女は目を開けた。(パラオ)に設置されたマス・ドライバーの加速は凄まじく、全身がシートにめり込むと恐怖した直後、暗闇が目前に覆い被さっていたのだ。どのくらい気絶していたのだろう。彼女の覚醒に気付いたリディは、機体を大気圏突入モードへ切り替える作業を止めず、同時に表示される先刻の戦闘状況を覗く。「終わったみたいだ。(ガンダム)は(ネェル・アー・アガマ)に収容されたい。あの(四枚羽根)もな。こっちは多分、戦没認定を食らっているだろう」「……」なにを裏切り、なにを置き去りにしてきたのか。自身の下した選択に確証がつかめない、漠とした少女の心中を察し、リディは自身にも言い聞かせるように声を発する。「今は、このまま進むしかない。君も……俺も」補助推進器として利用したネオ・ジオンのSFS(シャクルズ)を切り離し、メインスラスタを全開させる。オードリーと呼ばれていた少女は、亡国の姫ミネバ・パラオ・ザビとして正面に視線を捉えた。虚空の先に、青く輝くテニスボール大の光がぼつんと浮かんでいる。全てが生まれたところ、そして帰るところ——。我知らず胸中に咲いたミネバを乗せ、ウェーブライダー形態を取った(デルタプラス)が常闇を走る。宇宙で起こった人の争いなど知らぬげに、地球は無二の輝きを放って行く手にあった。



\*写真はイメージです。

## PAINTING (塗装)

\*よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。\*塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

### MSN-001A1 デルタプラス 指定色

腹部などの塗装色 ニュートラルグレー (90%) +ブラック (10%)	インテークなどの塗装色 ホワイト (100%) +ネービーブルー (少量)	デュアルアイセンサー レッドアイの塗装色 クリアレッド (70%) +クリア (30%)	デュアルアイセンサー バイザーの塗装色 スモークグレー (60%) +クリア (40%)
本体などの塗装色 ホワイト (55%) +ミディアムブルー (35%) +ブラック (10%)	胸部などの塗装色 ブルー (80%) + ホワイト (10%) +レッド (5%) + ブラック (5%)	顔センサーなどの塗装色 クリアブルー (50%) +クリアグリーン (20%) +クリア (30%)	

●ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。  
\*カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

## FIGURE リディ・マーセナス

ノーマルスーツの塗装色 ホワイト (95%) +スカイブルー (5%)	ノーマルスーツ 胸内側の塗装色 コバルトブルー (90%) +ホワイト (10%)	ヘルメット ブルー部の塗装色 ブルー (100%)	ヘルメット バイザー部の塗装色 スカイブルー (100%)	ノーマルスーツブーツの塗装色 ニュートラルグレー (90%) +ホワイト (10%) +スカイブルー (少量)
リディ はだの塗装色 薄茶色 (100%)	オードリー はだの塗装色 薄茶色 (90%) +ホワイト (10%)	軍服 ダークグレー部の塗装色 ミッドナイトブルー (100%)	軍服 グレー部の塗装色 ニュートラルグレー (85%) +ミッドストーン (15%)	軍服 ライトグレー部の塗装色 ホワイト (80%) +エアクラフトグレー (40%)
軍服 上着の塗装色 蜜光ピンク (80%) +ホワイト (30%) +コバルトブルー (10%)	軍服 靴の塗装色 オレンジイエロー (90%) +ライトブラクソン (10%)	ズボン部の塗装色 ミッドナイトブルー (90%) +ホワイト (10%)	靴の塗装色 ダークアース (100%)	

オードリー・バーン(ミネバ・ザビ)

## ワンポイントステップ ~One point step~

### スミ入れしてみよう!

ガンダムマーカ/スミ入れ用(別売り)などを使用して、キットのスジ彫りを塗装することで、立体感、リアル感が増します。スミ入れするだけで見違えるような仕上がりになります。



[before]

[after]

## TRANSFORMATION



### Ankle



WR時、ツマ先が上面へロックする。

### Joint parts

肩、腰、太腿、翼の変形位置を固定するジョイントパーツで形態保持力を向上。

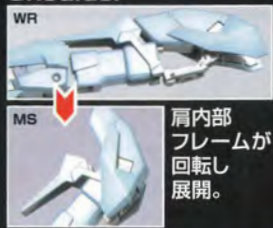


### Head



変形時、胸部からエレベーター式にスライドし展開。バイザー内には、デュアルアイセンサーのディテールを表現。

### Shoulder



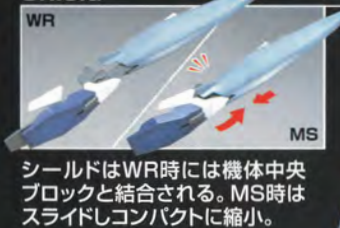
肩内部フレームが回転し展開。

### Frame joint



股関節は左右分割、WR時は背部に展開する。

### Shield



シールドはWR時には機体中央ブロックと結合される。MS時はスライドしコンパクトに縮小。

## “デルタプラス”へつながる可変MSの進化をMGで検証せよ!!

MSZ-006  
ゼータガンダム(別売り)

MGシリーズ第5弾。初めてMSとウェーブライダーのプロポーションの両立を目指す。変形機構が確立されたモデルである。

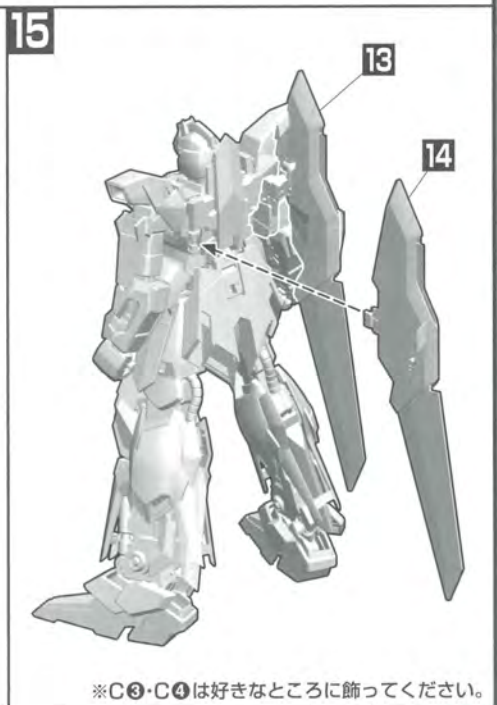
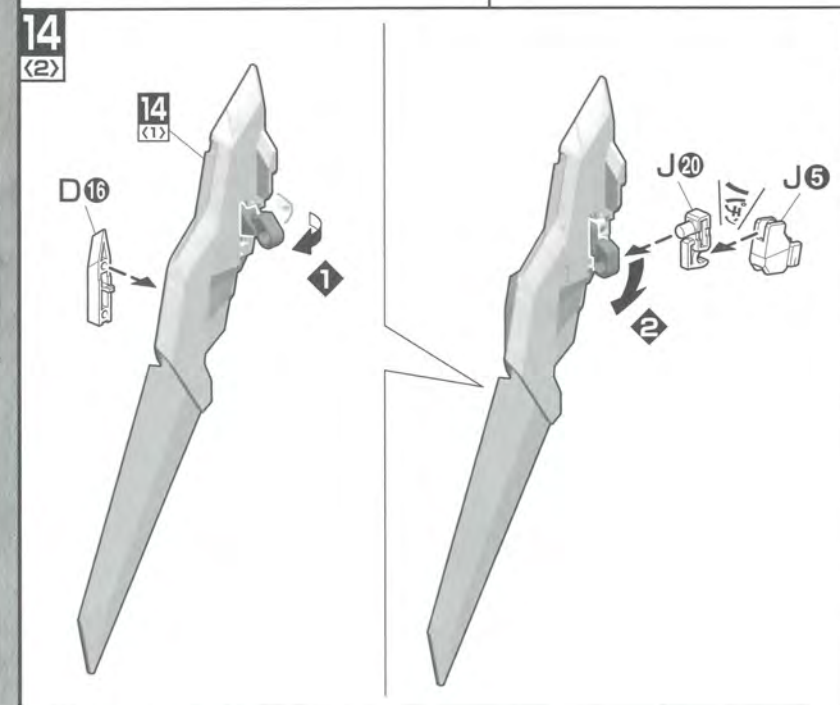
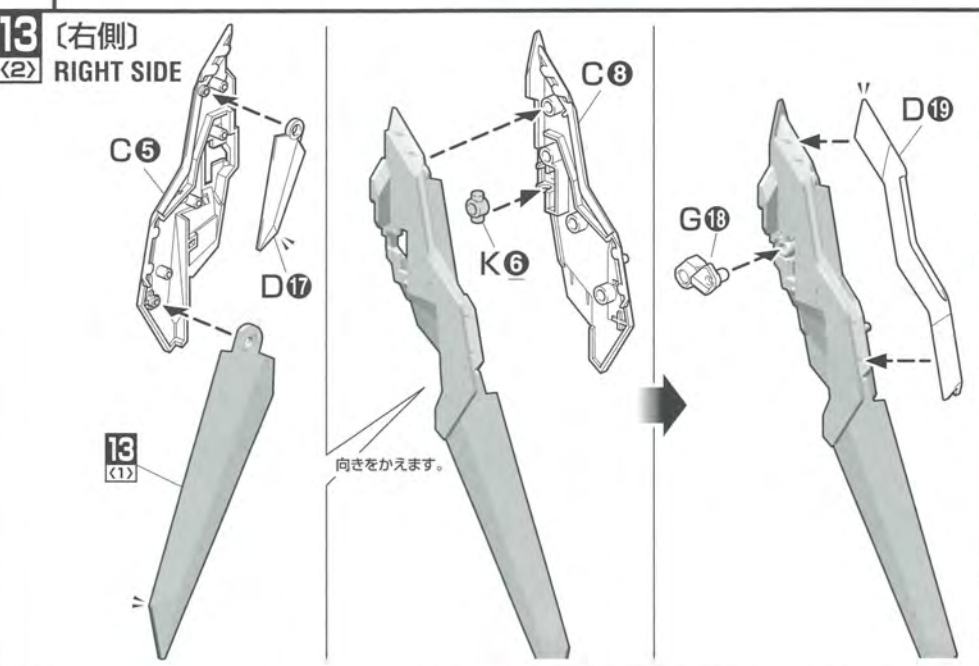
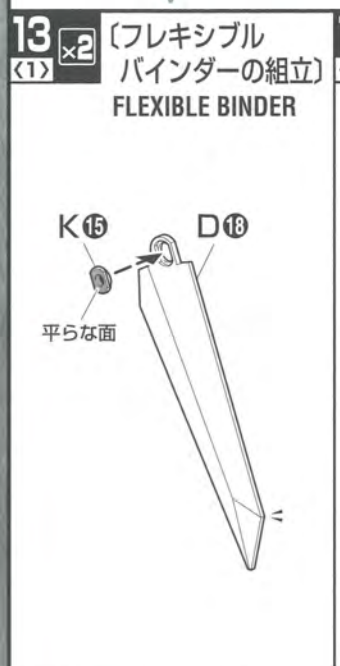
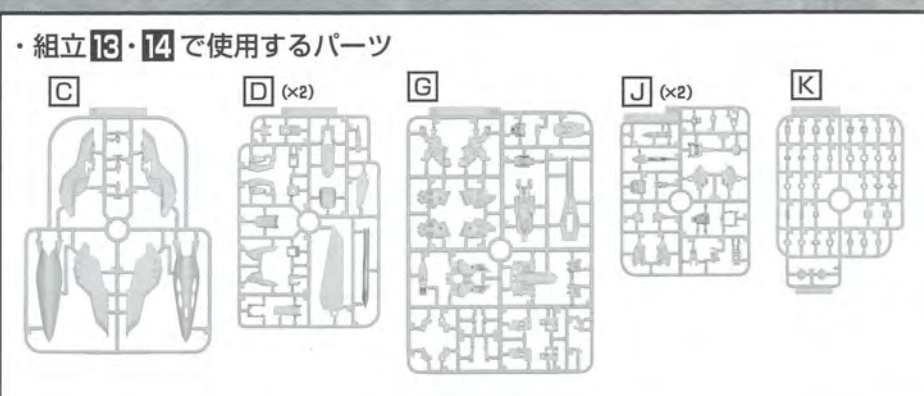
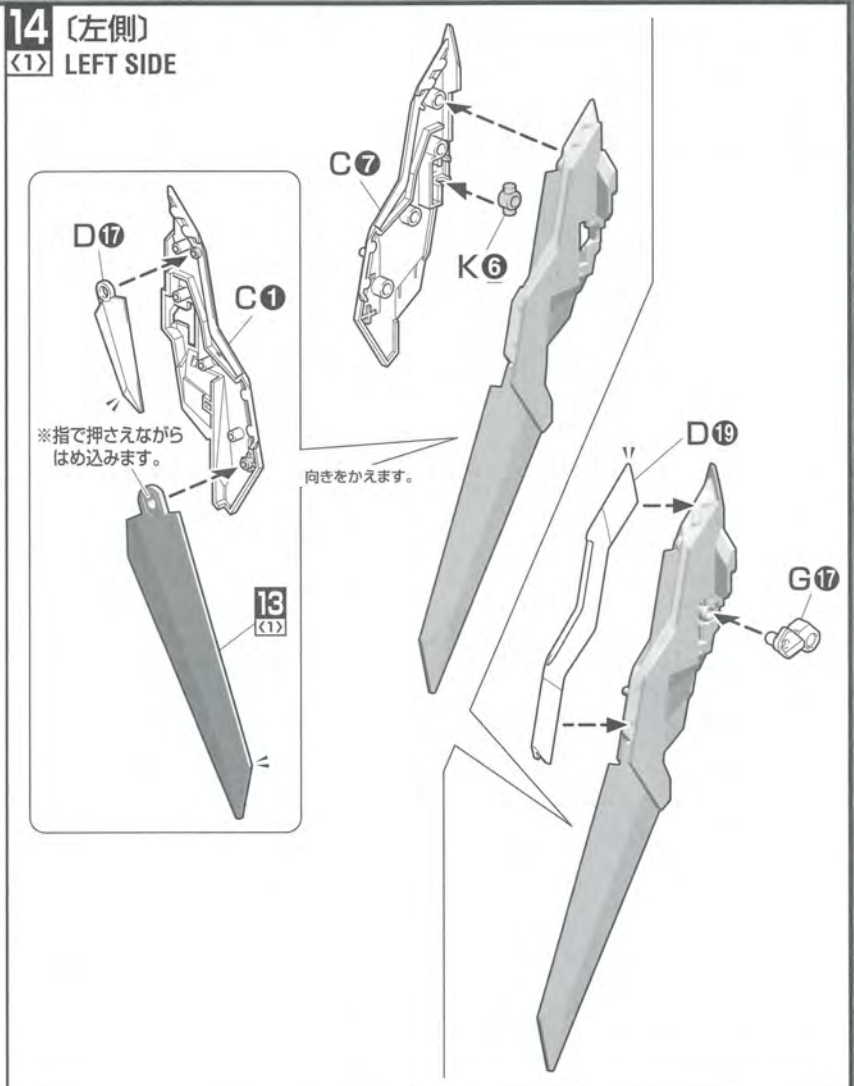
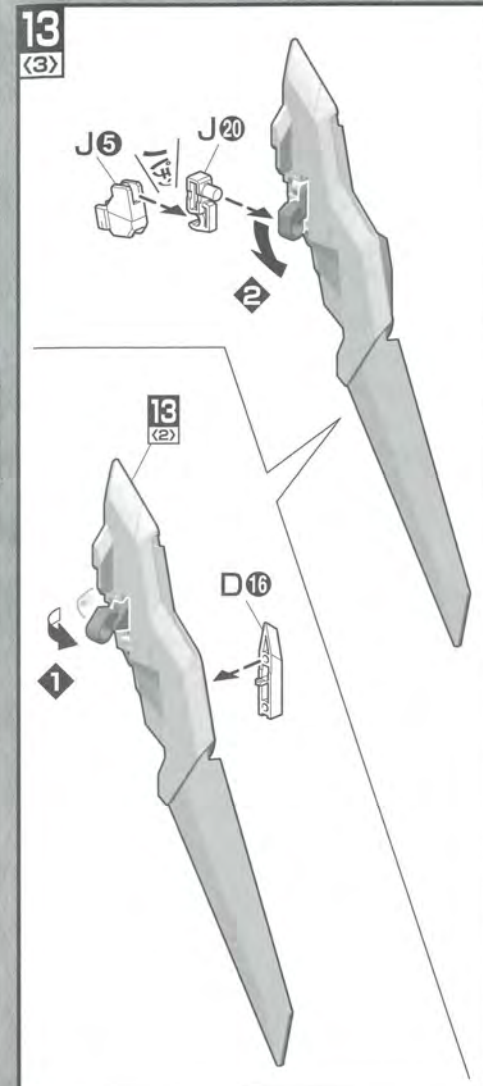
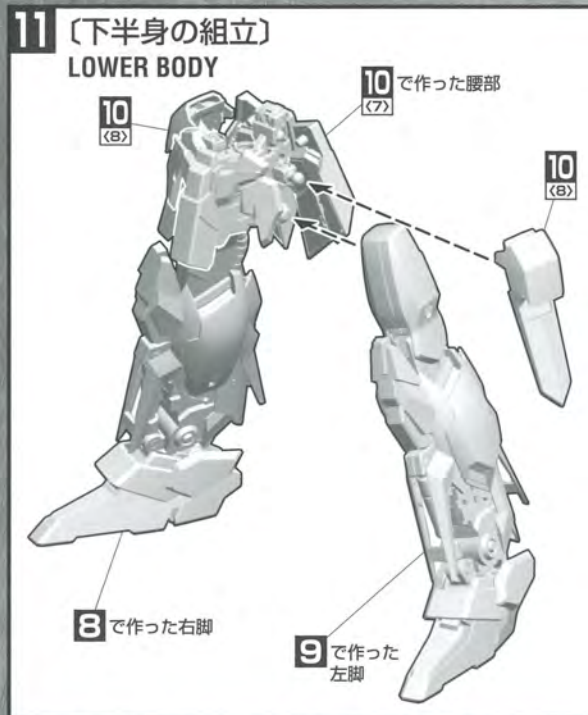
MSZ-006C1  
ゼータプラスC1(別売り)

ガンダムセンチネルというリアリティー溢れる設定を代表する機体。MGにおいては、航空機的な表現を追求。

MSZ-006  
ゼータガンダムVer.2.0(別売り)

Ver.2.0では、新解釈・再構築による、変形前・後のプロポーションの両立を更に追求。

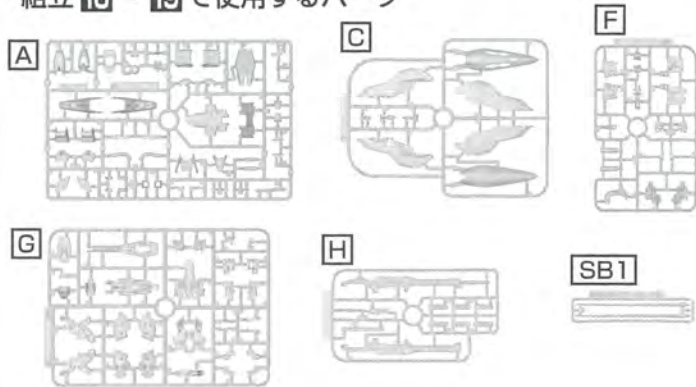






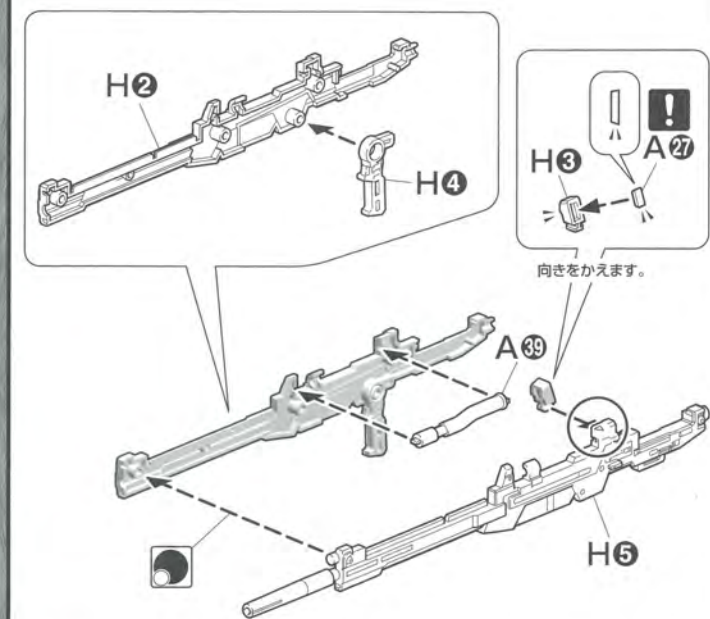
16~19 WEAPONS

・組立 16~19 で使用するパーツ



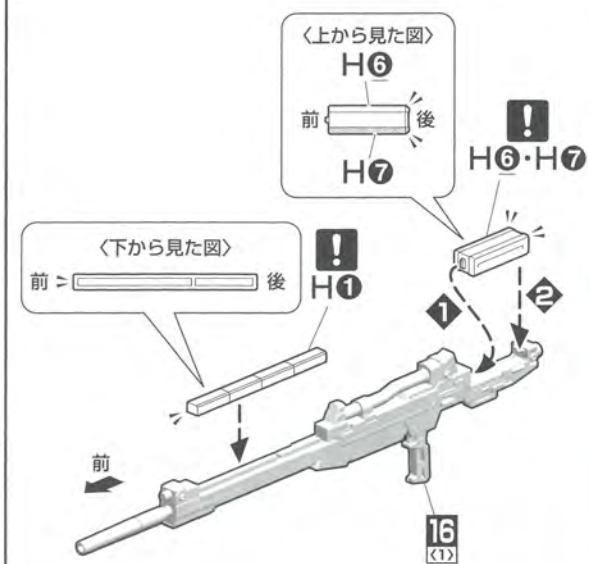
16 [ビーム・ライフルの組立]

<1> BEAM RIFLE



16

<2>



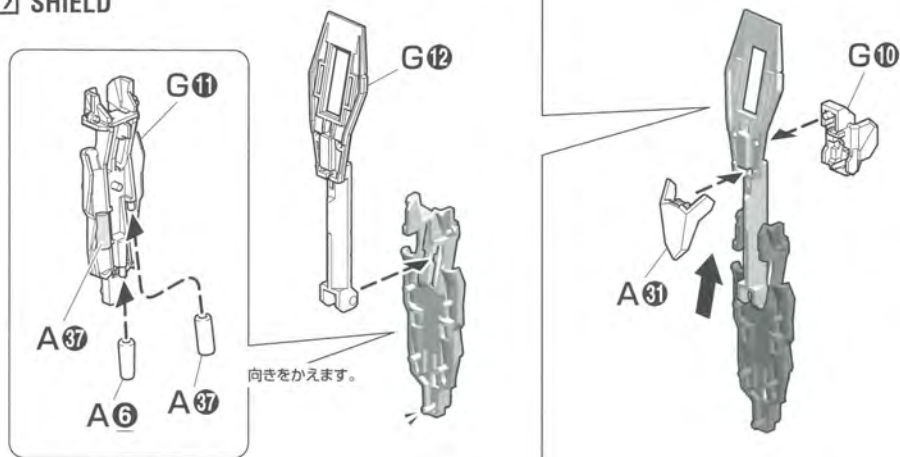
17 [ビーム・サーベルの組立]

×2 BEAM SABER



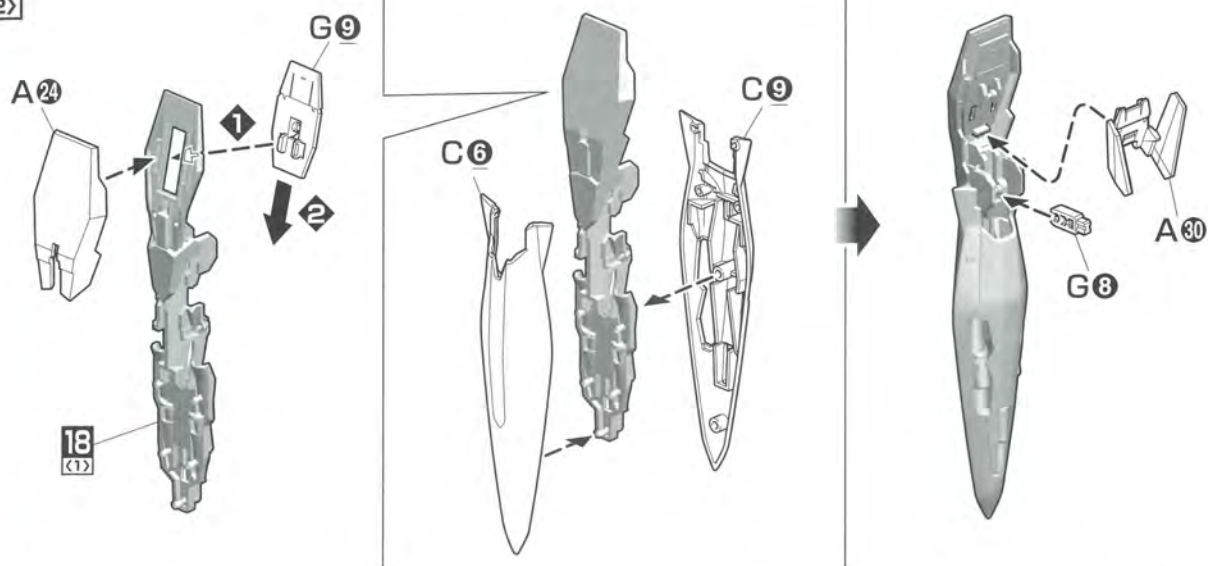
18 [シールドの組立]

<1> SHIELD



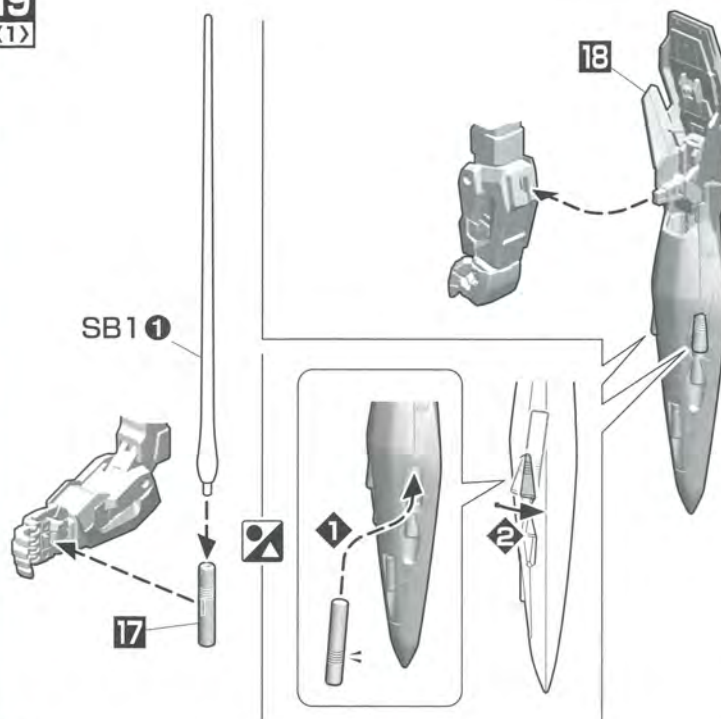
18

<2>



19

<1>



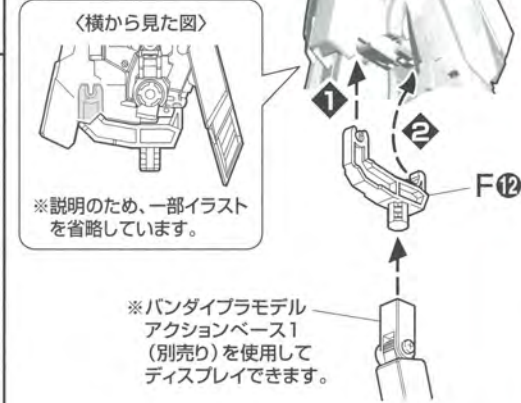
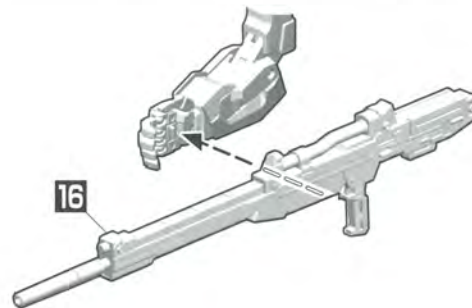
19

<3>



19

<2>



※バンダイプラモデル  
アクションベース1  
(別売り)を使用して  
ディスプレイできます。



〔ウェイブライダーへの変形〕で使用するパーツ

G



**1** ※ビーム・ライフル、シールド、台座ジョイント(F⑩)は取り外しておきます。

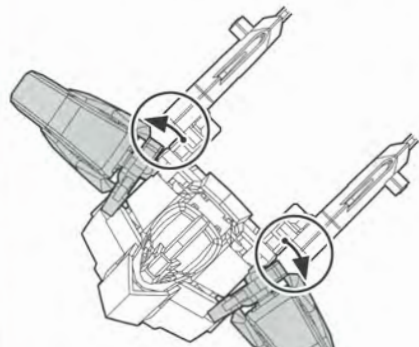
※①~④の工程は、腕部を外した方が難易度が下がります。  
⑥の状態に変形させた腕部を⑬で取り付けてください。

※図のようにロックを解除します。

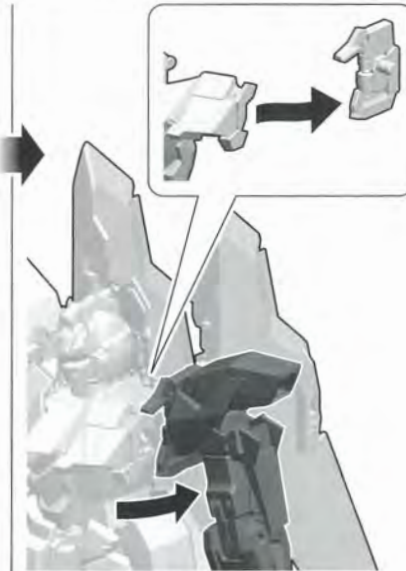


**2**

〈上から見た図〉

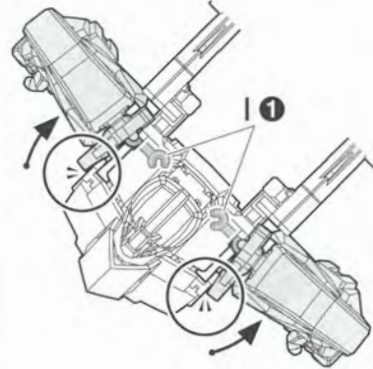


※矢印の方向に慎重に開きます。



※肩を矢印の方向に動かします。

〈上から見た図〉



⑩

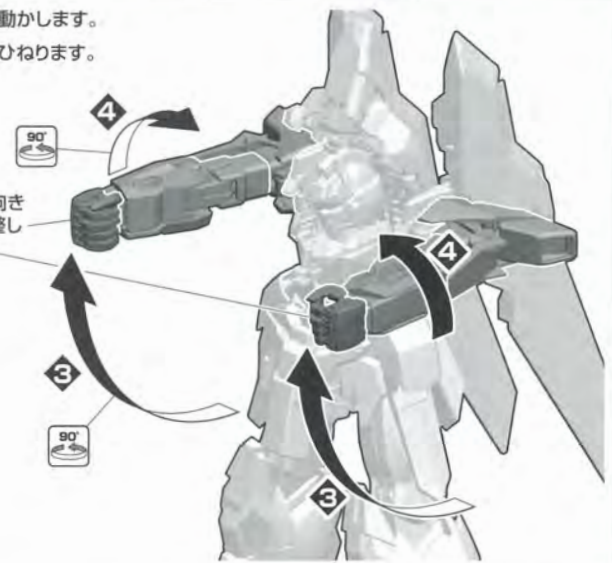
**4**

① 胸部前面を上を開きます。  
② ロックパーツを閉じます。



③ 腕を前方に90°動かします。  
④ 腕を内側に90°ひねります。

※両手首は図の向きに合わせて調整してください。



**3**

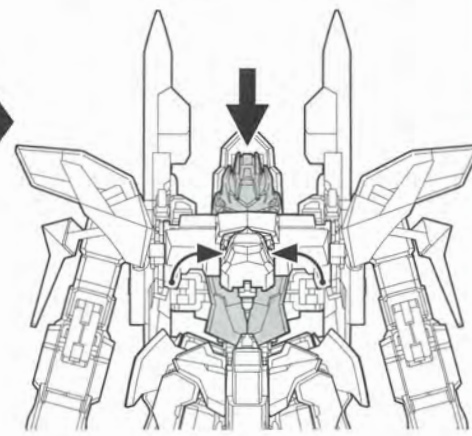
※コックピット・ブロックを動かします。



※ジョイントG⑳を動かします。

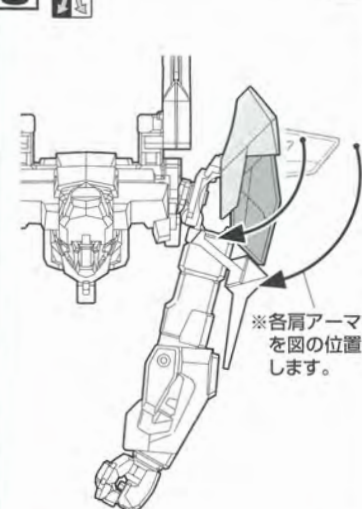


※頭部と脇腹を矢印の方向に動かします。

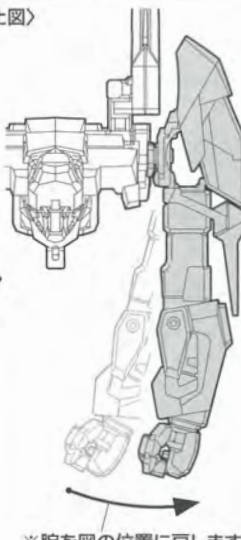


**6**

〈上から見た図〉



※各肩アーマーを図の位置にします。



※腕を図の位置に戻します。

〈横から見た図〉

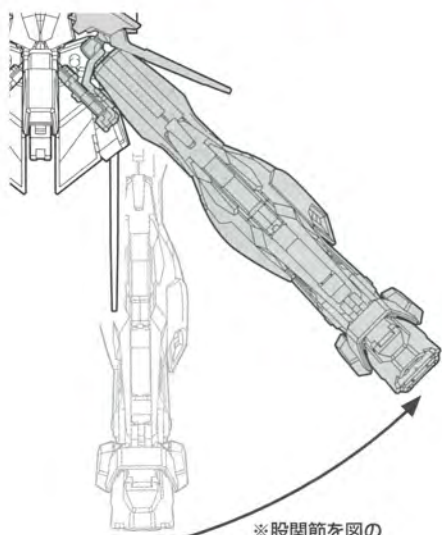


※フロントアーマー、リアアーマーを開きます。



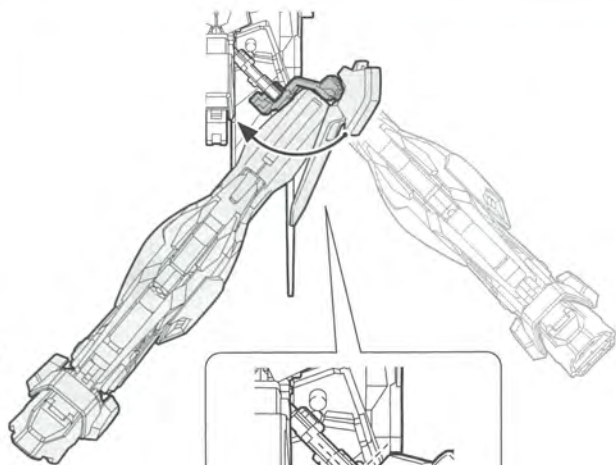


7 ※7~8の作業は、片側ずつ行ってください。



※股関節を図のように開きます。

※説明のため、一部イラストを省略しています。

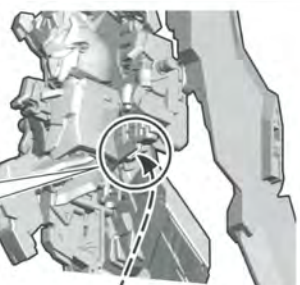


※股関節の軸がまっすぐになるように動かします。

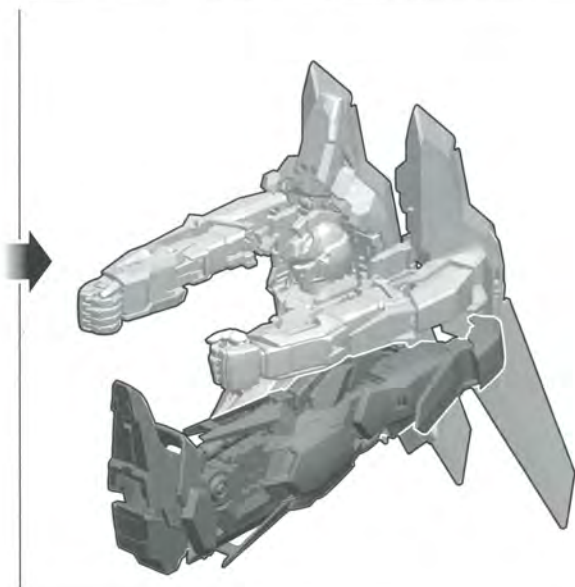
8



※ミゾに差し込みます。



※リアアーマーを閉じて股関節を固定します。



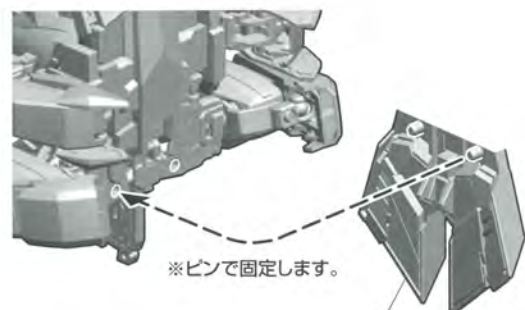
※ピンで固定します。

※リアアーマーを内側から見た図。

9



※リアアーマーを閉じて股関節を固定します。



※ピンで固定します。

※リアアーマーを内側から見た図。

10



※両脚部を下に動かします。

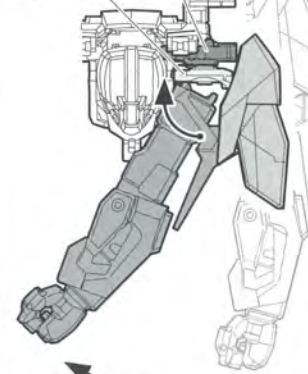
11 ※11~12の作業は、片側ずつ行ってください。

※胸部側面をたたみます。

〈上から見た図〉

※胸部側面(青いパーツ)

※グレーのパーツ



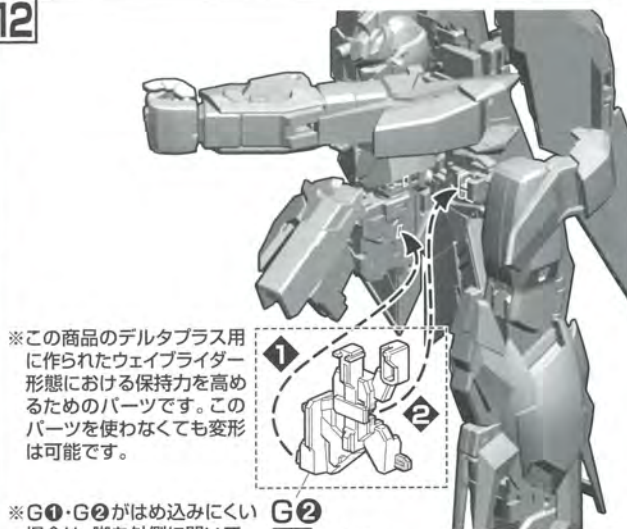
(説明のため胸部前面を外しています。)

※胸部側面(青いパーツ)は図の位置になります。



(説明のため腕部を外しています。)

12



※この商品のデルタプラス用に作られたウェイブライダー形態における保持力を高めるためのパーツです。このパーツを使わなくても変形は可能です。

※G1・G2がはめ込みにくい場合は、脚を外側に開いてから作業を行ってください。

G2  
G1

(右腕、右脚、フロントアーマーは省略しています。)

〈G2取付状態〉

※肩アーマーと干渉するのでぶつからないように、腕を肩軸ごとひねってよけてください。



(説明のため腕部、フロントアーマーは省略しています。)

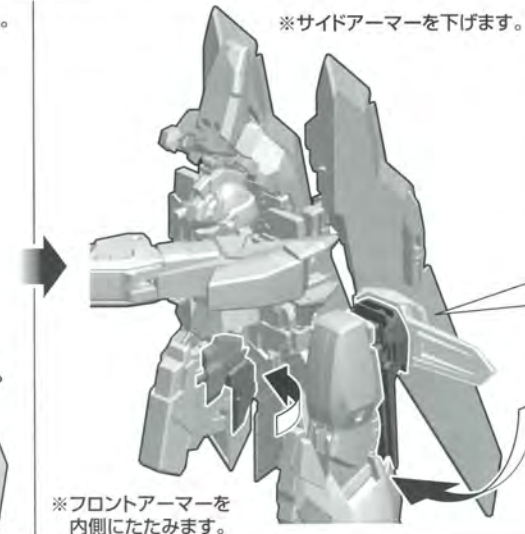
13

※サイドアーマーを開きます。



※フロントアーマーを閉じます。

※サイドアーマーを下げます。



※フロントアーマーを内側にたたみます。

〈サイドアーマー左側〉

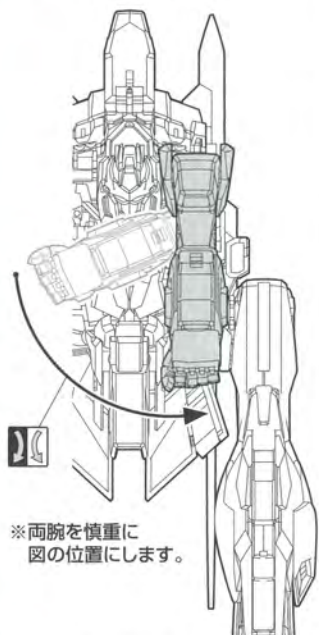
※ジョイント部分が写真の状態になっているか確認してください。





14

〈前から見た図〉



※両腕を慎重に図の位置にします。

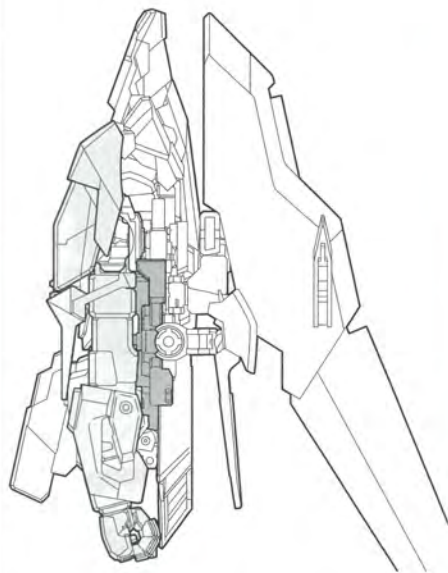
(脚部等との干渉に注意してください。)

15

※腕を収納します。



〈横から見た図〉

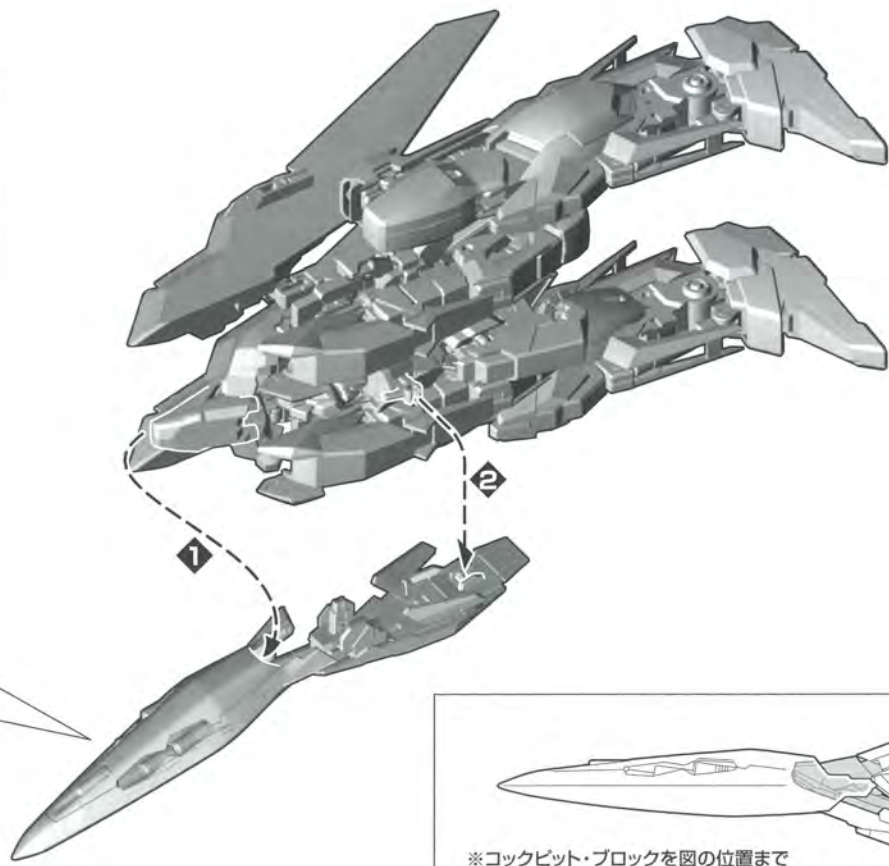


※説明のため、脚部は省略しています。

16



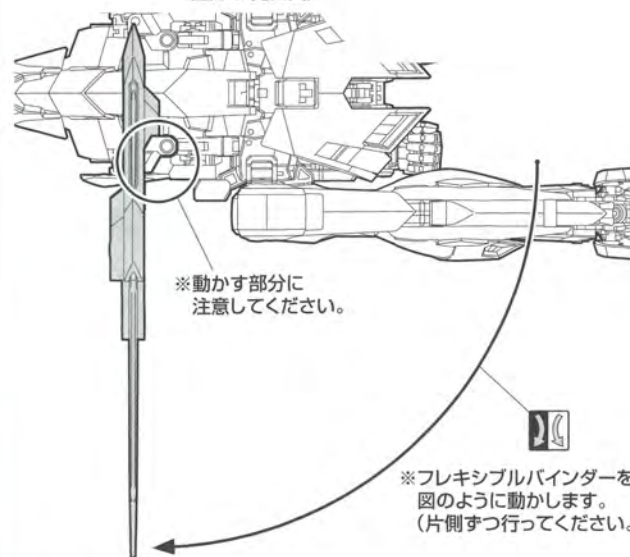
※カチッと音が鳴るまで動かします。



※コックピット・ブロックを図の位置まではめ込みます。

17

〈上から見た図〉



※動かす部分に注意してください。

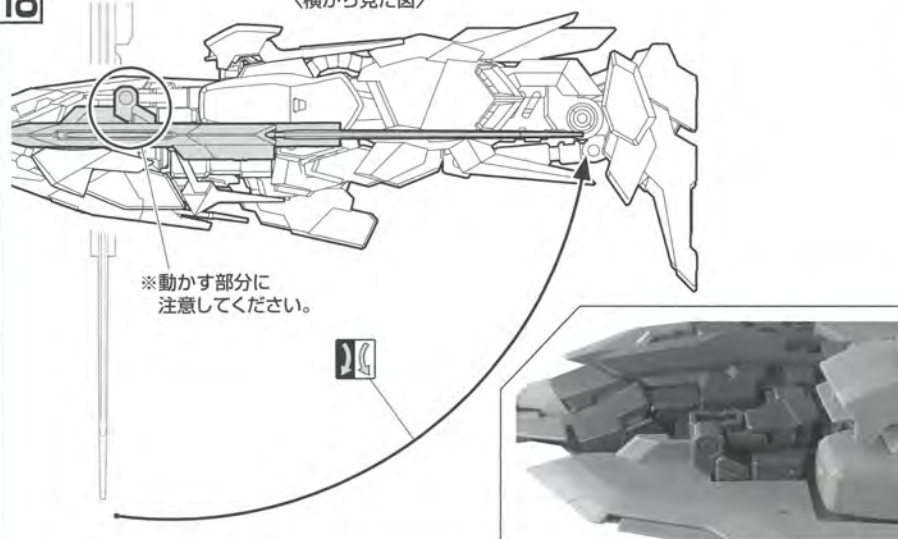
※フレキシブルバンダーを図のように動かします。(片側ずつ行ってください。)



※フレキシブルバンダーを図のように動かします。

18

〈横から見た図〉

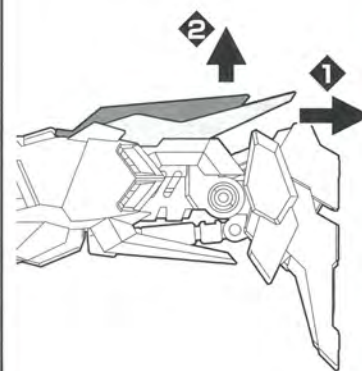


※動かす部分に注意してください。

19

◆ □部を矢印の方向にスライドさせます。

☞ カバーを開きます。



20

☞ の作業を行うと自動的に開きます。

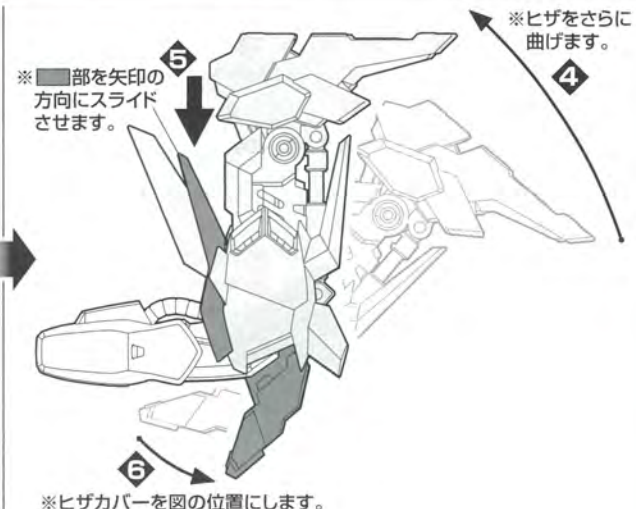
☞ 矢印の部分を押さえながら ☞ の作業を行ってください。



① ヒザ下の関節を曲げます。

※説明のため、脚部以外は省略しています。

※ ■部を矢印の方向にスライドさせます。



※ヒザをさらに曲げます。

※ヒザカバーを図の位置にします。



